

7. 高円寺南保育園

高円寺南保育園



調査対象

利用児141名の保護者114世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：父2名、母53名、父母一緒5名、無記入4名。調査票記入者の年齢：「25～30歳未満」2名、「30～40歳未満」147名、「40～50歳未満」22名、「50歳以上」1名、無記入5名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数

114

共通評価項目による調査対象者数

114

共通評価項目による調査の有効回答者数

77

利用者総数に対する回答者割合(%)

67.5

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」39名(50.6%)、「満足」127名(35.1%)、「どちらともいえない」16名(7.8%)、「不満」13名(3.9%)、無記入2名(2.6%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の85.7%であり、サーベスに対して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問4「安全対策」、問5「行事の日程」、問7「職員の関わり姿勢」、問8「清潔保持・整理整頓」、問10「緊急時の対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」であった。
 ・自由記述では、「明るく元気な保育士が多く、子どもも園が大好きなので安心して」「安心して仕事ができる」などの声が多く寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	73	3	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の94.8%で、提供されている食事に高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「とても工夫されていて、サンプルを見て感激することもある」「季節イベントに合わせたものでありがたい」「食事の時のスチーマーを身につけて使わせていただきありがたい」等の声が多く寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「栄養士さんみるので信頼している」との意見が多く寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	53	18	4	2
「はい」と返答した方々は回答者の68.8%、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の23.4%であった。「はい」と返答した方々からは、「年齢に合わせた公園を選択している、本当に感じている」等の声が多く寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「園庭が狭いので、もう少し外の公園や散歩の機会があると良いと思う」等との意見が多く寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「サッカー復活を願います」「午睡後の運動が欲しい」等の声が多く寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	58	10	3	6
「はい」と返答した方々は回答者の75.3%で、保育時間の柔軟な対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「スロップ延長で受け入れてもらえて助かる」「急病の時は本当に柔軟に対応してもらいました」等の声が多く寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「延長保育利用者が多いので、急には入れないこともある」等の声が多く寄せられた。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	62	10	4	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の80.5%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「非常に大きく対策がとられていると思います」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「年齢の上のクラスほど、目が行き届いていない時がある」「日々のことに関して、どうかと思うことはいくつかある」等の声が寄せられた。</p>				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分な	62	11	3	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の80.1%で、保護者に配慮した行事日程の設定に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「日程は問題ありません」「会場の中にもありますが、やはり発表会は土日によって欲しい」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「平日と週末と両方を設定していただけると、誰でも一度は参加できると思う」等の声が寄せられた。</p>				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	56	15	5	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の72.7%で、家庭と保育所の信頼関係に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「丁寧に対応してもらっている」「人によって差はあると思う」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員によるところが大きい」等の声が寄せられた。「いいえ」と返答した方々からは、「職員に余裕がないように見受けられる」等の声が寄せられた。</p>				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	63	7	4	3
<p>「はい」と返答した方々は回答者の81.8%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「時間を惜しまず聞いてくれていると思う」「いろいろな先生がいて、いろいろな話をしてくれるので、保育園の様子が変わる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「そういった話題を持ちかけたことかないので」等との声が寄せられた。</p>				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	72	4	0	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の93.5%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「休日行くと消毒していたり、いつも綺麗」「いつでも清掃が行き届いていて気持ちよく通わせてもらっている」等の声が寄せられた。</p>				
9. 職員の接遇・態度は適切か	58	13	5	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の75.3%で、職員の接遇・態度に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「不快な職員は見たことがない」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「言葉は人による」等との声が寄せられた。</p>				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	65	8	2	2
<p>「はい」と返答した方々は回答者の84.4%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。</p>				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	45	21	5	6
<p>「はい」と回答した方々は回答者の58.4%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の27.3%であった。「はい」と回答した方々からは、「十分に事柄を話してくださるので、毎回安心している」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「子どもから色々聞くことが多い」等との声が寄せられた。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	65	9	2	1
<p>「はい」と回答した方々は回答者の84.4%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「はい」と回答した方々からは、「子どもが家庭であった出来事を話すときに、いつも耳を傾けてもらっているようです」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「じっくり子どもを観察する余裕がないのではと感じる」等の声が寄せられた。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	53	16	0	8
<p>「はい」と回答した方々は回答者の68.8%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の20.8%であった。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「事務所での話が聞こえてしまったことがある」等との声が寄せられた。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	53	19	2	3
<p>「はい」と回答した方々は回答者の69.7%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の25.0%であった。「はい」と回答した方々からは、「分かりやすく伝えてくれる」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「新人とベテランの対応に差を感じる」等との声が寄せられた。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	50	14	5	8
<p>「はい」と回答した方々は回答者の64.9%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の18.2%であった。「はい」と回答した方々からは、「話は聞いてくれるが、対応はそれほどでもない」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「保育園としての考え方はきちんと説明してくれる」等の声が寄せられた。「いいえ」と回答した方々からは、「大きな問題でない限り言わない」等の声が寄せられた。</p>				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	28	18	7	24
<p>「はい」と回答した方々は回答者の36.4%、「どちらともいえない」と回答した方々は回答者の23.4%、「非該当」と回答した方々は回答者の29.9%であった。「どちらともいえない」と回答した方々からは、「そういう状況になったことかからない」等の声が寄せられた。「非該当」と回答した方々からは、「そういう状況に陥ったことがありません」等との声が寄せられた。</p>				

Ⅰ 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目		評価項目
	カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ1毎の 標準項目実施状況	9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		評点(0000)
	評価	標準項目	
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(00)
	評価	標準項目	
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(000)
	評価	標準項目	
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えてい	<input type="radio"/> 非該当

「園のしおり」に保育目標・法人理念などを明示し、その理解の浸透を図っている
 「園のしおり」に保育目標・法人理念などを明示し、園見学・保護者会・新入園児説明会において説明し、その理解の浸透を図っている。法人理念、行動指針を職員に書面で配布したり、事務室に掲示している。また、入職の際のオリエンテーションで説明し、職員へ周知している。毎日の屋のミーティングで、法人理念を唱和している。また、年2回の「業務管理・評価シート」を使っての個人面談でも、法人理念・保育目標などについて振り返りを行い、その意識づけを図っている。職員会議でも、毎回、理事が参加し、法人方針を伝えている。

職務基準書などを作成し、リーダー層の役割と責任を明示している

職務基準書および職能資格等級フレームを作成し、園長・主任などの幹部層・リーダー層の役割と責任を明示している。法人は区内に複效の保育園を保有しているため、月1回、各施設長が兼ったの施設長会議を開催し、各園の問題課題について検討している。また、リーダー層自らの役割や職務についても確認する機会としている。園長は、保護者との関わりを大切にすると同時に、保育士が笑顔で、楽しく、元気に保育ができることが子どもが安心して生活できることにつながると考え、職員が安心して働ける職場環境づくりに努めている。

職務分担表を作成し、職員個々の役割と責任を明確化している

職務分担表を作成し、職員個々の役割と責任を明確化している。園内の重要案件の検討の場として、「リーダー会議」(月1回、その他、随時)、「職員会議」(月1回)を中心に園内の重要案件について検討、決定している。その他、「給食会議」「保育会議」「衛生委員会」(月1回)、「研修計画」(全体研修、年1回・その他、随時)などを設けている。職員アンケートでは、年1回、法人研修があることにより、法人内で横のコミュニケーションを取れるので良いとの声が寄せられていた。

カテゴリー2

2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(2-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点(〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している
<input type="radio"/>	なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>

評価項目2
第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点(〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に 関する情報を開示している
<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリー2(2-2)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点(〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、 個別相談など)
<input type="radio"/>	なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師 派遣など)を行っている
<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>

評価項目2
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点(〇〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
<input type="radio"/>	なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	なし	3. ボランティアに利用者のボランティアの尊重やその他の留意事項などを伝えている
<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>

評価項目3
地域の関係機関との連携を図っている

評点(〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 地域の関係機関とのネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
<input type="radio"/>	なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>

行動指針を作成し、職員へ説明している

職員の行動指針を作成しホームページでも公開している。また、行動指針に基づいて「業務管理・評価シート」を作成し、「社会福祉に関わるものとして誇りを持つ」や、子どもへの対応として「子どもも自身が愛される喜びを感じられるようにする」「わけへだてなく接する」保護者への対応として「悩みや思いに共感し、子どもの成長を共に喜ぶ」などを明示し、人事考課の際に振り返り、確認している。また、東京都主催の人権研修は、毎年、必ず職員を複数名派遣、研修報告書を作成し、他職員へ報告し、研修報告をいつでも見られるようにしている。

地域子育て家庭に対して、情報誌を約200部発行し、町内会で回覧している

月1回、地域子育て家庭に対して、情報誌を約200部発行し、町内会で回覧している。地域活動計画も作成し、隣接ゆうゆう館利用の高齢者との世代間交流(年10回以上)、異年齢時交流(小学生との交流、中学生の育児体験)、育児講座、出前保育を実施している。「ひととき保育」では、専任職員1名(常勤)を配置し、1時間×800で、30分単位で預かり、アレルギ一食・離乳食は提供できないが、幼児には園の給食も提供している。近くの認証保育所にも園のチラシを貸している。

オリエンテーション確認事項を用意し、個人情報保護遵守について承諾を得ている

ボランティア受け入れは、主任が対応している。ボランティアの受け入れに対する基本姿勢は「オリエンテーション確認事項」に明示し、活動初日のオリエンテーションで書面を通して説明している。また、個人情報保護遵守について承諾を得ている。高校生の夏ボラ、大学保育学部の学生がボランティアとして活動している。隣接のゆうゆう館の高齢者が来園し、七夕・クリスマスなどの行事に参加したり、敬老会の際、お弁当を持って、子どもがゆうゆう館に出向き、歌を歌ったり、折り紙を教えてもらうなどの交流をしている。

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカネコリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

サブカネコリー毎の
標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(00)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
<input type="radio"/>	あり	2 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
<input type="radio"/>	あり	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
<input type="radio"/>	なし	

カネコリー3の講評

4月の保護者会で、苦情解決制度について配布し、説明している

苦情解決規程を作成し、それに沿って対応している。第三者委員を2名の方に依頼し、苦情対応について園内およびホームページに掲載し、苦情解決制度について保護者に周知している。しかし、第三者委員が介入するほどの苦情はきていない。4月の保護者会で、苦情解決制度について配布し、説明している。1階に意見箱を置き、いつでも誰でも苦情や意見を投函できるようにしている。今年度、1件、投函されていた。無記名であったため、その対応策を提示し、保護者に周知している。

行事実施後にアンケートを実施し、改善策を講じている

「ひととき保育」の利用者には、年度末にアンケートを実施し、集計分析し、その結果について掲示している。また、保護者会などで説明し、ホームページでも公開している。行事実施後にアンケートを取っている。今年度、保護者の希望を受けて、「発表会」で、受付方法を変えて、スムーズに誘導できるように改善している。そのほか、連絡帳や送り迎えの際に保護者からの苦情や意見を受け入れられている。

私立園長会や法人内施設長会議に参加し、地域ニーズについて収集している

私立園長会(月1回)、法人内施設長会議(月1回)に参加し、国・都・区の子どもに関わる施策や地域ニーズについて収集している。また、法人理事長が杉並区私立保育園連盟の会長であるため、福祉に関わるさまざまなニーズを収集することができている。さらに、近隣小学校で開催される子どもまつりなどに参加し、地域とのコミュニケーションを図っている。年2回、認証保育所・認可保育園などが参加する地域懇談会に施設長が参加し、テーマを決めて検討したり、情報交換している。

4 計画の策定と着実な実行

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー1(4-1)	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11 / 11
---------------------	---------------	-------------------	---------

評価項目1
 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している
 評点(0000)

標準項目		評価
1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している
 評点(0000)

標準項目		評価
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
 着実な計画の実行に取り組んでいる
 評点(0000)

標準項目		評価
1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当
4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(00000)

評価		標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる

カテゴリ-4の講評

中長期計画を施設長会議で検討し、理事会において決定している

中長期計画を施設長会議で検討し、理事会において決定している。中長期計画に沿って、年次の事業計画書を作成している。計画策定では、保護者や地域の方からのアンケート結果をもとに計画の見直しをしている。また、クラス会議や職員会議で、意見交換を行い、保育や行事において評価反省を踏まえ、計画の策定を行っている。年度末の反省を基に次年度の計画を立てている。

自衛消防組織分担表を作成し、災害時の対応体制を明示している

自衛消防組織分担表を作成し事務室に掲示し、災害時の対応体制を明示している。月1回、避難訓練を実施している。4歳・5歳児は防災頭巾・避難靴を身に着け、自分の足で歩いて避難している。訓練を重ねることにより、慣れを感じ、危機感がなくならないように訓練の大切さをその都度伝えている。緊急メール配信やホームページにて利用者に周知する仕組みを設けている。他方、感染症対策として、各クラスに加温器を置き、こまめに換気している。また、おもちゃ・棚などは、毎日、消毒している。

「かみつき ひっかき表」も一覧表にし、改善につなげている

月1回、園長・副園長・主任などで、園内の危険個所について点検している。事故・ヒヤリハットは、「インシデントレポート、アウンテントレポート」を作成し、毎月、職員会議で情報共有し、対策について検討している。緊急性のある案件は、屋の打ち合わせで話し合い、すぐに対応できるようにしている。「かみつき ひっかき表」も一覧表にし、頻発に起きているケースでは、その保育内容を反省し、改善につなげている。他方、不審者対応マニュアルを作成し、不審者による火事の訓練をしているが、警察署による不審者訓練は今後の課題である。

5 職員と組織の能力向上

サブカネコリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成
に取り組んでいる

サブカネコリー毎の
標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(0000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(000000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
<input type="radio"/>	なし	

サブカネコリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカネコリー毎の
標準項目実施状況

7 / 7

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(0000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	
<input type="radio"/>	あり	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
<input type="radio"/>	なし	

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価 報酬(賞金、昇進、昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなどを把握し、改善に取り組んでいる)	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

パート職員の募集採用は園長決裁で、副園長が面接し、応募理由を確認している。
法人本部が募集・採用を行なっている。保育士養成校を周ったり、就職フェアでアオスを出したり、法人全体で説明会を開催している。正規職員の採用では、理事長・理事で面接し、パート職員の募集採用は園長決裁であり、副園長が面接し、応募理由を確認し、現状を伝え、保育士の現状も伝えている。常勤職員の平均年齢が22歳であり、若い職員集団である。常勤職員の平均在職年数2年である。非常勤職員で、保育士の資格を持ち、正規職員に登用される仕組みを設けている。

年2回の人事考課の面談で、職員個々の研修希望を把握している

年2回の人事考課の面談で、職員個々の研修希望を把握し、希望も取り入れ、研修計画を作成している。研修受講後、研修報告を作成し、職員会議にて報告するほか、上司との面談により成果の確認を行っている。年1回、1泊での法人研修を実施し、外部講師による講義や各施設から1年間の取り組み成果を研究発表している。その後、懇親会を行い、法人内の横の交流を促進している。保育士の資格受講の際、法人負担でピアノ、絵画などの個人指導の講師を招聘し、合格できるよう支援している。

産業医も参加して、月1回、衛生委員会を開催し、より良い職場環境づくりに努めている

様々なライフスタイルにあった就業形態を導入し、子育て中の職員に対してもシフト調整の希望を受け働きやすい環境づくりに努めている。園医を産業医として、園内を巡回し、月1回、衛生委員会を開催し、職員の心身管理について意見をもらっている。その内容を、職員会議で報告したり、講義録を回覧している。健康診断後に産業医に結果をチャットしてもらい、職員個々の健康管理についてアドバイスをしている。資格取得のための研修参加において一部補助が支給される。また、資格取得時に、祝い金を出し、資格取得を奨励している。

カテコリー7

7 情報の保護・共有

サブカテコリー1(7-1)

情報の保護・共有に取り組んでいる

サブカテコリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当

評価項目2
個人情報法、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当

カテコリー7の講評

パソコンごとにパスワードを設定し、アクセス権限を敷いている

パソコンは、事務室6台、クラス6台、ひととき保育専用1台、調理・医務それぞれ1台を設置し、必要なパソコン台数を配置している。パソコンごとにパスワードを設定し、アクセス権限を敷いている。また、インターネットにつなげているパソコンは事務室のみと限定し、定期的にセキュリティ対策を行い、情報の漏れを防いでいる。また、各クラスや行事毎にUSBメモリーに整理し、鍵のかかるキャビネットで保管している。さらにデータベース管理表において出入れを記載し、個人情報が持ち出されないよう厳重に管理している。

「個人情報保護規定」などを作成し、これに即った対応に努めている

「個人情報保護規定」「特定個人情報取り扱い規程」「特定個人情報等の適正な取り扱いに関する基本方針」「情報公開規程」を作成し、これに沿った対応に努めている。「開示申出書」「開示決定通知書」「一部開示決定通知書」「非開示決定通知書」を用意し、保護者から記録類の提示を求められ際、いつでも提供する体制を整えている。

入職時のオリエンテーションなどを通して、保育士の秘密保持義務について説明している

職員に対して、入職時のオリエンテーションや職員会議などを通して、保育士の秘密保持義務について説明している。実習生やボランティアにもオリエンテーションで説明している。「個人情報に関する特記事項」を作成し、「実習生は、知り得た個人情報を第三者に提供してはならない」「実習生は、体験中に指示された場合を除き、個人情報の複写および複製を行なってはならない」などについて明確化している。

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

一時保育の利用者が多く、園の持つ機能を地域に還元している

- ・駅から近く、利便性が高いため、一時保育の利用者が多い。また、併設の高齢者施設の利用者との交流を通して、園の持つ機能を地域に還元している。
- ・法人の中長期計画で、職員の雇用の安定を図るため、複数施設の経営を目指している。その結果、区内他園の受託が決定したことで、法人内の認可施設が6園となった。それにより、職員数が増加し、育児休暇の取得率も上がり、職員が出産しても働き続けられる職場環境を整えることができた。
- ・年2回、認証保育園・認可保育園などが参加する地域懇談会に施設長が参加し、情報交換を行ない、保育の質向上につなげている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育士の資格取得を支援しており、法人がピアノや絵画等の講師を園に招聘している

- ・保育士の資格取得を支援しており、法人負担でピアノや絵画等の講師を園に招聘している。
- ・法人合同で宿泊研修を実施し、外部講師による「危機管理について」を学びたり、組織内の情報の交流も促進している。
- ・年度毎に重点項目を定め、法人全体で研修計画を策定し、職員育成の方向性を明確化している。
- ・今年度は5名の新入職員、5名の異動職員が配置されたことで、新しい風が入り、組織の活性化につながっている。
- ・「衛生委員会」を設け、産業界による巡視も行い、職員の心身の健康管理に努めている。巡視の結果、産業界から助言・アドバイスをもらい、職員にとってより良い職場環境への改善につなげている。また、ストレスチェックも次年度から行う予定である。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善が行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の就労を支援するために、さまざまな柔軟な対応を行なっている

- ・保護者の就労を支援するために、さまざまな柔軟な対応を行なっている。まず、20時30分までの延長保育を実施している。急な残業などで保育時間に間に合わない場合には、スポット延長保育を定員空きプラス5名を受け入れられている。年末保育を12月29日と30日に1部屋の定員30名で実施している。年末保育は園児で募集し、地域情報誌にも載せている。緊急一時保育も行っている。0歳児の園児は延長保育の対象外であるが保護者が入院したケースでは受け入れられている。

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

電気・ガス・水道水・ゴミなどについてデータ化し、経費削減に努めている
 ・職員会議で、電気・ガス・水道水などの水光熱費や、ゴミなどについてその使用量・前年度比較などをデータで示し、全職員に報告し、経費削減に努め、経営への意識づけを図っている。

サマカネコリー5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカネコリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カネコリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「ひととき保育」や行事などの実施後にアンケートを実施し、次回の改善に活用している

・「ひととき保育」の利用者に対して、年度末にアンケートを実施し、集計分析し、その結果について掲示したり、保護者会などで説明し、ホームページでも公開している。また、行事実施後にもアンケートを実施し、次回の改善に活用している。今年度、保護者の希望を受けて、「発表会」で、受付方法を控えて、不公平なく、順番で入れるようにするなど改善している。また、年長児のお泊まり保育を園内に変更し、全員が参加することができている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	サブカテゴリー1	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	評価		
1	サービス情報の提供	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
				標準項目 評価		
				1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当
				2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当
				3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当
4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当				
サブカテゴリー1の講評						
<p>利用希望者にホームページや地域情報誌「ちゆーりっつが通信」等で情報を提供している</p> <p>区のホームページや区が発行している「保育施設ガイド」「保育施設マップ」などの情報誌で情報提供している。法人のホームページでも、保育園の概要、年間行事、保育内容、給食、保健、教養マップなどを紹介している。子育て家庭向けの保育事業（一時保育、年末保育、地域活動）やイベント情報（離乳食講座開催のお知らせ等）、園児に使用する保健関係証明書のダウンロードもできるようにしている。園のしおりを作成し、子育て支援の地域情報誌「ちゆーりっつが通信」を月1回発行して、児童館や町会回覧板などで多くの人に見てもらっている。</p> <p>ホームページは子育て中の若い母親に見てもらいやすいように配慮している</p> <p>ホームページは、カラーで親しみやすく、具体的に分かりやすく、なるべく読みやすい字体を使い、子育て中のお母さんたちが保育園について知りたい情報を掲載しようと考えて作成している。園児の保護者にも見てもらえるように、お知らせや給食日よりなどを月毎に更新して、いつも最新の情報になるように見直しをしている。災害伝言ダイヤル171を入れ込んでいいる。</p> <p>問い合わせや施設見学には希望に沿うように、個別の事情に応じて受け付けている</p> <p>電話で問い合わせしてもらい、希望の日時や要望を聞き、園の状況を説明したうえで受け付けている。なるべく希望に沿うようにしており、融通がきく場合は園児が遊んでいる午前中を案内しているが、夕方や土曜日でも受け付けている。見学者には園長が対応して、園のしおりを配布している。日程が重なった場合など了解してもらって数人一緒に案内することもある。施設見学と一緒に園の保育の目標や特徴なども伝えている。一時保育や子育て支援事業の案内もしている。</p>						
サブカテゴリー2						
2	サービスの開始・終了時の対応	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
				標準項目 評価		
				1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当
2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当				
3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	○非該当				

評点(○○○)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

6/6

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(○○○)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
○あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている
○あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている

サザカテゴリー2の講評

入園説明会は3月初めの土曜日に実施して、園のしおりを基に説明している

入園内定が出て、保護者から入園の意思表示があれば入園説明会を3月初めの土曜日に実施している。入園説明会では園のしおりに沿って、開所時間のこと、行事のこと、健康面のこと、登園やお迎えのこと、非常災害のことなどを説明している。保育園での生活の様子や行事の内容をイラストの映像で見てもらい持ち物の説明もしている。同時に給食試食会を実施して、50円で味見してもらい、離乳食の展示もしている。その後、園医による子どもの健康診断を実施している。

個別の事情や保護者の要望を把握し、決められた様式に記録している

事前に児童票、家庭連絡票、かかりつけ医療機関について、入園までの生活状況、新入園児健康調査票、健康調査アンケートを配布して記入してもらい面談前までに提出してもらっている。個別の面談は保護者の都合に合わせて実施している。園児の兄弟もいるので、お迎えの時などにも実施している。個別面談は園長・副園長・2人の主任で行っている。聴き取りでアレルギーがあるなどの食事面の詳細な聴き取りが必要な場合は栄養士が聴き、薬のことなどの健康面の詳細な聴き取りが必要な場合は看護師が聴き取っている。

短時間から始めて次第に時間を伸ばし、食事・昼寝ができれば通常保育にしている

仕事の都合で慣れ保育ができない場合もあるが、新しい環境に対する子どもの不安には保育士の配置を厚くしている。慣れ保育ができる場合は、初日・2日は母子分離で2時間程度預かっている。3・4日目には食事をしてみる。5日目は2回食べてみる。離乳食の場合も幼児食の場合も、初めて食べる食材についてはアレルギーがないかどうか家庭で試してもらってから食べさせている。慣れ保育については、食事ができ、お昼寝ができれば通常保育に移行する旨伝えて、母親と相談しながら進めている。

サザカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サザカテゴリー毎の
標準項目実施状況 12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面に明示している

評点(○○○)

標準項目	
評価	
○あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
○あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
○あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
○あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
○あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
○あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
○あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
○あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
○あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

保育士や看護師は毎朝観察し、保育の様子や健康状態を日誌やおたより帳に記載している
毎朝の受け入れ時の子どもの観察と保護者からのおたより帳や口頭で伝えられる家庭の事情や子どもの状況を朝夕撮影表に記載し、配慮しながら保育をしている。保育士は保育中の子どもの様子を保育日誌や複写式のおたより帳に記載している。看護師は全園児の健康観察を行い、身体測定や健診の結果なども保健日誌に記載している。個人面談は年1回実施し子どものことや園のことなどを話している。これらの子どもの保育経過記録や健康記録、個人面談記録は児童票に記載している。

保育の計画はクラス担任同士が話し合って作成し、主任・園長が目を通して決定している
月間指導計画(月案)は月1回18時45分から2時間程度をかけてクラス会議を実施し、作成している。子どもたちの姿とクラスの取り組みについて反省を行い、次月のねらいや活動、配慮点などを話し合っている。0・1・2歳児は個別指導計画も作成している。できあがった指導計画案を主任が目を通して必要追加修正をした上で園長が決定している。職員会議では、指導計画を職員に配布し、前月の反省と次月の取り組みについて発表している。月案は全クラスで掲示しており、週案は幼児クラスで掲示して保護者に知らせている。

各種の会議を実施して職員間で子どもに関する情報を共有している

子どもに関する情報の共有には各種の会議を行っている。職員会議は月1回18時45分から行い、行政からの報告、理事長から、月案、研修報告、子どもに関する情報等を話し合っている。クラスリーダー会議はクラスリーダーと園長・副園長とで、月1回昼間に行っている。体制会議は14時45分から15分程度でクラスから代表者が参加しクラスノートに記録している。延長保育、明日のアレルギー児、怪我の報告、連絡事項などである。パート会議には保育補助、用務補助、事務補助、調理補助のパートが参加して、情報の共有を図っている。

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようになっている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(00000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

新入園児説明会に於いて個人情報保護に関する詳細な説明をし、同意書を買っている

新入園児説明会に於いて「園における個人情報保護の方針」の文書で、個人情報保護の基本理念を示し、個人情報の利用や収集する個人情報の種類、管理、個人情報の開示・訂正・利用停止・消去、ホームページや地域情報誌での写真の利用についてなど、個人情報の適正な使用と管理について詳細に示した上で、同意書をもらっている。また、写真撮影、ビデオ撮影、ホームページ掲載について、承諾不承諾のアンケートを取り承諾した人のみ撮影し、掲載している。

子どもの個性を尊重して、丁寧に対応している

子ども一人ひとりの個性を尊重している。動作がゆっくりの子どもにも言葉で急がせたり、強制したりしないようになっている。食事量が少なめの子どもには初めから配慮して少な目に盛り付け、食べ切ってからおかわりしてもらおうようにしている。アレルギー食も代替え食を提供するが、できるだけ見た目も同じように作っている。また、入職の際には子どもの名前を呼び捨てにしないことを指導している。

保護者の考え方や思いを良く聴き、できることは受け入れて支援をしている

子どものオムツ外しについては保護者の思いを良く聴き、その思いに沿いながら行っている。お箸の使用は3歳の後半からにしているが、子どもも食器具の使い方によって、箸とさし・フナークを共用している。放射能に対する考えで牛乳やお茶は飲ませないという場合には受け入れて、持参しているお茶を飲ませている。保護者の考え方や価値観により食材を選択するとう場合も受け入れられている。決めた保育時間があるが、保護者の考えで習い事などのために、早めに迎えに来ることも受け入れられている。

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○○)

評価		標準項目	
<input type="radio"/>	あり	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○○)

評価		標準項目	
<input type="radio"/>	あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改善の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価		標準項目	
<input type="radio"/>	あり	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

区立園共通の「危機管理マニュアル」に加えて、園独自のマニュアルも作成している

区立園の共通の「危機管理マニュアル」には、「事故発生時対応」「火災・地震等災害時の対応」「感染症対応」「食物アレルギー」「児童虐待の早期発見・対応の為に」などのマニュアルが整備されている。園独自のものとして、「食物アレルギー」「薬の預かりマニュアル」「プール・湯水遊び」「実習生の受け入れ」「保健衛生マニュアル」など、具体的業務関係の手順書を作成している。これらマニュアルや手順書類は職員が手に取りやすい場所に置き、必要な時にいつでも見ることができるようになっている。

マニュアルに不都合が出た場合や期末・年度末に、必要に応じて見直ししている

区の医療研究会に参加して情報を得たもので、方法が変更になった、新しい考え方になったなどの、保健関係のマニュアルに不都合が出た場合には、法人に伝え必要と判断すればマニュアルを変更している。行事の進め方や取り組みの手順については、行事の後に反省会を持ち、職員の意見や保護者のアンケート結果も参考にして、必要に応じて見直しをしている。保育については期末、年度末に振り返りを行い見直しをしている。

業務管理シートを用いて年間2回面接をし、指導助言を行っている

業務管理シートを作成して、職員一人ひとりと年2回面接を行い、サービス提供の方法について指導助言を行っている。例えば、保護者がおたより帳に書いてきたことに対して、どう回答すれば良いか等の相談があれば、乳児担当・幼児担当の2人の主任が助言している。新入職員には同じクラスの中で世話を決め、まずは、園児の名前を覚える、園に慣れる、仕事の手順を知るなど少しずつ教え、悩みなどを聴くようにしている。園長・主任は3か月後、6か月後にどこまで育っているのかを見ることができている。

Ⅲ サービスの実施項目(カネゴリー-6-4)

サブカネゴリー-4

サービスの実施項目

サブカネゴリー毎の
標準項目実施状況

37 / 37

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子ども全体の姿を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当

評価項目1の講評

保育室内は遊びのコーナー設定をして、落ち着いて遊べるようにしている

0歳は月齢により発達の速い遊びも変わるので、室内環境は動き回っても危険のないようにしている。保育室内は遊び毎のコーナーを作り、落ち着いて邪魔されずに遊ぶようにしている。玩具棚には玩具の写真を貼って場所を指示しており、自分で選んで使い、片づけもできている。園庭にはグラウンターや花壇で花や野菜を植えている。幼児はすぐに盛り込むなど体幹の弱い子が多いと感じているため、トイレの環境につかまるものや寄りかかれるスベースを作り、壁に片手をついたりつかまったりして、立ってスベロンが履けるようにしたいと思っている。

「なかよしタイム」や行事などで異年齢の交流をしている

月に2回くらい、3・4・5歳児を大きく3つに分け、それを2つのグループに分けて、計6グループに分かれて異年齢での活動「なかよしタイム」をしている。昨年度から取り組み始め、今年度は9月から始めている。散歩に出かけたり、グループ毎に制作遊びなどをしたりしている。その他、運動会で3・4・5歳児が「いさみ太鼓」を踊ったり、4・5歳児がお泊り保育で一箱にアイスクリームを作るなど、一箱に活動をするこもあり、小さい子は年長組に憧れをもち、年長組は小さい子にやさしく接する等の経験をしている。

子ども同士のトラブルの解決には、保育者が仲立ちになって双方の気持ちを聴いている

子ども同士のトラブルの解決には、双方の子どもに理由を聴き、保育者が仲立ちになっている。自分の思いを言葉で言い表せない年齢である1歳児までは、トラブルを防げなかった園の責任であることから、噛まれた子の保護者には伝えて、噛んだ子の保護者には言わないこととしている。2歳児でのトラブルでは双方の保護者にトラブルになった状況を伝えてはいるが、子どもには噛みつきやひつつかきの理由を聴いて、双方の気持ちを汲むようにしている。トラブルの記録をとり分析して、今後の対策を考え、保護者にもそのことを伝えてはいる。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(居寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. お迎え時に、その日の子どもを保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

朝の受け渡し時には直接保護者と言葉を交わし、子どもの様子を聴いている
毎朝の受け渡しには笑顔で挨拶して、保護者と直接話しておたより帳を手渡ししてもらい、内容を見てから必要に応じて確認している。子どもの様子を観察し、傷があれば何時どいつしてできた傷なのか、前日に具合が悪かった場合には熱や機嫌等の体調はどうかを必ず聴いている。0歳児は登園後保護者が検温し、熱性けいれんのある子どもも、園に預けている1分体温計で検温してから預かっている。午睡明けには園で検温している。保護者には「~ちゃんのお母さん」「~ちゃんのお父さん」と呼ぶようにしている。

一人ひとりの発達に応じて基本的な生活習慣が身に付くようにしている

基本的な生活習慣を身に付けるための支援については、子ども一人ひとりの発達段階を把握した上で行っていくことをクラス懇談会で説明している。子どもの食事、排泄、着脱などの状況をおたより帳や口頭で保護者に伝えて共有し、子どものペースに合わせて少しずつできるようにしている。また、食事だよりでは生活リズムとして朝食が大事であることを取り上げ、ほけんだよりでは早寝早起きの規則正しい生活習慣の大切さを記事にして、家庭でも意識して生活リズムを整えるように呼びかけている。

午睡(休息)は年齢や個々の子どもの状況に応じて、時間や長さを配慮している

食後には午睡をしている。0・1歳児は子どもの状況により午前寝も取り入れられている。2歳児は食後すぐに布団に入りおおよそ2時間程度、4・5歳児は食後少し絵本を読んだりして胃を休めてから布団に入り、13時30分位から15時ごろまで午睡をしている。保護者からあまり長く寝かせないでという声がある場合には、早めに起こして静かに過ごさせている。年長組は11月から金曜日は学習の日に限り寝ていない。12月からは火曜日と金曜日、1月からは週3日間寝なくなり2月からは寝ないで過ごしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○ 非該当

評価項目3の講評

子どもが自分で選んで遊べるように手の届く位置に玩具を置き、コーナーを設定している

室内はコーナーを設定して、子どもの手の届くところに玩具を置き、自分で選んで遊ぶようにしている。乳児組はグループに分かれて少人数で活動しており、遊び場所も保育室、ホール、園庭などに分かれて遊んでいる。また、大人が連携して、食事前の入室、着替えや排泄、手洗いなども子どもを待たせないようにしている。幼児組は8時30分から園庭で自由に遊んでいるが9時20分に入室して、9時30分から朝の会で当番活動、出欠確認などの後、課題活動に入っている。ブロックや廃材の製作後は、置いておき遊びの継続を保障している。

体操教室やリトミックを実施し、運動会やお店屋さんごっこ等は意見を出し合い活動している

体操教室は毎週火曜日、5歳児は1時間、4歳児は30分間実施している。リトミックは毎週木曜日で幼児が45分ずつ受けている。誕生日会は月1回、ホールで全園児参加の集会形式で行っている。「運動会のおみこし」はテーマを“宇宙”に決めて、おみこしの4面に何を飾るか、「宇宙人チーム」などに分かれて、意見を出しあって作り上げている。お店屋さんごっこではみんなで話し合っ、たこ焼き屋、綿あめ屋、クレープ屋などを考えて制作している。ばなな鬼、ドロケイ、氷鬼などの鬼ごっこやしっぽ取りなども自分たちでルールを決めて遊んでいる。

散歩に出かけて自然物に触れて遊び、季節の移り変わりを気づかせている

1週間に1~2回は散歩に出かけているが、散歩に行く前にはお散歩バッグを作り、松ぼっくりや花、どんぐりなどを見つけてたぐさん持ち帰らせている。木の葉や枝を使って製作遊びに使い断っている。年長組は飼育しているカメや金魚に餌やりをしている。雨の日が続く6月には、カウピーニール袋でレインコートを作り、雨の中に行ってみて雨音を聴くなどもしている。冬場には園庭の隅や散歩先で霧柱を探し、踏んで歩いたりして、自然の不思議さや季節の移り変わりを気づかせている。

4 評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

お泊り会やはつびよう会などを実施してみんなで協力する喜びを味わっている

9月の金曜日には4・5歳児が園でのお泊り会を体験し、テロツクのテーマパークへ行ったり、園でアイスクリーム作りをして食べたり、一緒に寝たりしている。1月のはつびよう会は保護者参加行事であり、2～5歳児が劇や合奏を披露している。2歳児は「やおやおの野菜」3歳児は「クレヨン」のぐるくん14歳児は1金のカチヨウ1、5歳児は1オズの魔法使いの予定している。これらは普段読んでいた絵本で子どもが好きな物から選んでいる。保護者には衣装の用意をお願いし、5歳は絞り染めのTシャツを用意してもらっている。

運動会などの行事には、「YOYAKO」だよりなどのおたよりを配布している

園外保育や芋ほりなどのお弁当などの準備をお願いする行事は早めにお知らせを出している。保護者参加行事の運動会には、「YOYAKO」だより11号・2号のおたよりを出して、子どもたちの取り組みの様子や見どころなどを知らせて、楽しみに参加してもらえようとしている。引を取り訓練やお泊り会説明会、保護者会なども分かりやすくしお知らせを配布している。保育行事や度育の取り組みの様子を写真にとり廊下等に掲示している。毎月発行している園だより、チラシだよりはA3判の用紙を使用して大きく分かりやすく伝えるようにしている。

運動会などへ地域の人に参加を呼び掛けたり、併設の高齢者向け施設との交流をしている

運動会のポスターを作成して児童館に貼ってもらったり、園外の掲示版に貼ったりして地域の人に参加を呼び掛けている。地域の人向けの種目としてバレー、競争を取り入れている。ひととき保育利用の人や見学者などが来て参加している。その他、併設の高齢者向け施設「ゆゆう館」に子どもの日、七夕、敬老の日などの行事には出かけて行き、交流している。ゆゆう館からはお土産ごっこに来てもらっている。地域の認証保育所から夏1～2回ゲームに入り来ている。地域の小学校は、学芸会を見に行ったり、給食を食べなどの交流をしている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

くつろいで過ごせるようにマットを敷いて、延長保育用のおもちゃも用意している
 18時30分まではクラスで保育している。その後、20時30分まで3歳児室で0歳児(歳になった子)から5歳児まで一緒に過ごしている。現在延長登録24名であり、スポット延長利用に5名の枠がある。延長保育の時間にはくつろいで過ごせるようにマットを敷いて、寝そべったりして遊んでいる。部屋の中を区切って、小さな空間にして落ち着けるようにし、いつも同じパート職員が関わっている。おもちゃも延長保育用のものにしてしている。小さい子どももいるので、小さいおもちゃ類は使用しないようにし、色鉛筆ではなくクレヨンを使用している。

保育者が仲立ちになりながら、異年齢の子ども同士が触れ合えるようにしている

日常から一緒に遊ぶこともあり、また、延長保育に入ってからの子のメンバーは顔を見知っているので、自然に遊んでいる。4・5歳児が小さい子に折り紙を折ってあげたり、パズルを教える等もしている。ブロックや積み木で遊んでいる時に小さい子が側に来て触っても、「だめだよ」とやさしく教えている。保育者は、いつでも子どもの仲立ちをして異年齢の子ども同士が触れ合えるようにしている。

朝夕相談表と延長日誌を活用して保護者間に連絡事項や日中の子ども様子を伝えていく

夕方保育時にも朝夕相談表を使って、保護者への伝達項目を記入している。延長日誌にクラス全体の活動を書き込み、日中の保育活動で何をしたらかが分かるようにしている。クラス担任が延長保育当番の場合は日中の様子を伝えていくが、そうではない場合にも、当番職員は担任からの伝達事項と共に、延長保育日誌をみて日中の活動の様子を保護者に伝えている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当

評価項目6の講評

園独自の献立で、誕生会の日は特別メニューのバイキングで4・5歳児には提供している

献立は園独自に栄養士が作成している。2週間サイクルの献立であり、食材の産地は保護者にわかるように掲示している。和食を中心として様々な食材を使った栄養バランスのとれた献立にしている。毎月誕生日会の日には特別メニューで4・5歳児はバイキングにしている。3・4・5歳児一緒に合同給食は、七夕やクリスマス、節分、ひな祭りなどの伝統行事のお楽しみ会後に行事食として提供している。その他、郷土料理として、せんべい汁、納豆汁、人参しりしり、いきなり団子なども出している。

野菜の栽培、食材に触れる活動、調理活動などの食育活動をしている

野菜の栽培では、3・4・5歳児がそれぞれにきゅうり、なす、とまと、オクラ、ピーマン、サツマイモなどの苗を植え込み、水やりをしたりして、収穫したきゅうりを薄切りにして皆で食べている。子どもたちが食材に触れる経験として、そら豆のさや取り、ピーマンの種取りなどを行っている。調理活動は、フルーツ寒天作りやお月見団子、梅ジュース作り、うどん作り、カレー作りなどを行っている。食事のメニュー教室や栄養教室、食べ物が便利になるまでの身体の話などもしている。鮭の解体を子どもに見せる取り組みも行っている。

保護者には園の給食や食育の取り組みの様子を情報提供している

毎日玄関ホールで昼食・3時のおやつ・延長補食・離乳食の展示をしている。展示は離乳食・幼児食とも月曜日から金曜日まで1歳児量、2歳児量と年齢順に展示している。その日の食材の産地名を知らせ、食材の放射能検査結果も掲示している。毎月、給食だより、離乳食献立表、幼児食献立表、今月の給食レシピ(おかず、おやつ各1品)を発行している。給食だよりでは、保育園の給食について、季節の食に関する情報、子どもたちの食育の取り組みなどを分かりやすく紹介している。入園説明会や6月の土曜日には給食試食会を開催している。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(○○○)

標準項目		評価
1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている		○あり ○なし ○非該当
2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている		○あり ○なし ○非該当
3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている		○あり ○なし ○非該当

評価項目7の講評

子どもへの健康教育として手洗い指導や歯磨き指導を実施している

毎月身体測定と爪チェック、頭髪チェックを実施して、子どもの発育状況を把握し、事故防止や健康習慣などが身に付くようにしている。子どもへの健康教育として、手洗いやうがいの仕方、歯磨き指導などをしてしている。5歳児の手洗い指導にはヨード、歯磨き指導には染出し剤を使用し、洗ったり磨いたりすることで、どのくらいきれいになったかを分かりやすく知らせている。子どもたちには手洗いの必要性を年齢に応じて伝え、自分の身体を自分で守れるように指導している。

保育園での与薬が必要な場合には、子どもの薬を預かり与薬を行っている

服薬はできるだけ朝晩の薬にしようように伝えているが、どうしても昼飲ませる必要があるものについて、飲ませる場合は1日1包持つて来て、手渡ししてもらい、飲ませる度に依頼書を提出してもらっている。薬剤情報提供書のコピーも持参してもらっている。塗り薬はその日に持ってきてもらって塗っている。毎日塗る場合は、依頼書は1度提出してもらえばよいことになっている。現在園で預かり保管している薬は座薬である。毎週木曜日には0歳児健診で園医が来園するので、園児の健康に関する相談をすることができている。

「ほけんだより」や掲示で感染症の発生や予防について知らせている

毎月発行している「ほけんだより」で感染症の予防や虫歯予防、熱中症予防など健康に関する情報を発信している。園で感染症が発生した場合には、どのクラスで何名発生したのか、主な症状を可能なものは写真付きで掲示し知らせている。都や区からの送付される感染症の注意喚起ポスターなども掲示している。乳幼児突然死症候群(SIDS)については、午睡チェックを0歳児は5分毎、1歳児は10分毎、2歳児以上は30分毎に実施している。また、ペピーセンサーを0歳児室に2台、ひととき保育室に1台導入している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

標準項目		評価
1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している		○あり ○なし ○非該当
2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○あり ○なし ○非該当
3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○あり ○なし ○非該当
4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている		○あり ○なし ○非該当
5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○あり ○なし ○非該当

評価項目8の講評

保護者の子育てや就労などの個々の事情に配慮している
園全体で子どもに関する情報を保護者と共有して、丁寧にかかわり、伝達漏れがないよう心がけている。保育時間は勤務時間と通勤時間、職場の状況などを考慮して事情に応じて決めている。急な残業などにより、決めた保育時間に迎えに来れない場合や迎えの人が変わる場合には連絡をもらい受けている。時間により、スポット延長保育を利用してもらうこともできている。家族が入院したなどの家庭状況の変化などにも個別に相談に応じて、可能な限り配慮している。

保護者会や保護者参加行事を通して保護者同士の交流を図っている
年3回の保護者会と1回の個人面談を実施している。保護者会で先輩の保護者に話を聴きたいという希望があり、同じクラスの保護者の中で、兄弟を育てている保護者を意識してグループ分けをして討議を実施し、初めてのお弁当はどうしたらよいかなどと具体的な質問に先輩保護者が答えてくれるなど、保護者同士で話しをすることができている。また、運動会の保護者競技をクラス対抗のリレーにし、仲間意識ができて良かったと保護者に好評を得ている。

保護者との共通認識をもつために保育参観や保育参加を呼び掛けている

保育参観や保育参加をして実際の子どもと保育士や子ども同士の関わりを見てもらっている。保護者が希望すれば300円で3・4・5歳児は屋食も一緒に食べるようにしている。保育参加は1回に付き各クラス2名までとしている。参加希望者は3歳などが多い。終了後に面談を実施している。保育参観はいつでも受け入れられている。

9 評価項目9

地域の一斉に即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭の一斉に応じた子育て支援事業を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評

ひととき保育を実施し、地域の子育て家庭向けの支援事業も実施している

当園はひととき保育実施園であり、送り迎えの際などに利用者の言葉を交わすなど地域の子育て家庭にニーズが把握しやすい利点があり、保護者・地域も含めて子育て支援事業を実施している。ペビエヨガ、虫よけスプレー作り、ペビエツツサージなどの乳幼児を育てている地域の人や保護者を対象に土曜日などに実施している。また、出産前後の人向けにも、沐浴やおむつ交換の仕方、離乳食についてなども行っている。地域情報誌「ちゅーりっぷ通信」を月1回発行して、地域の児童館などに置いてもらっている。

出前保育、子育て教室、卒園児向け取り組みなどの様々な地域支援事業を実施している

地域の子育て家庭の子ども向けに、近隣の公園でおひさまぼかぼか紙芝居」として、気候の良い時期に年3回実施している。妊婦や乳幼児や小学生の子どもの保護者を対象に「お父さんお母さんのための子育てしつけ教室」を6月の土曜日に実施している。また、卒園児を対象に土曜日に、お好み焼きパーティーやパン作り教室、お餅つきなども実施している。

提供している子育て支援事業の評価見直しは事業後や年度末に実施している

子育て支援事業の実施後に事業の振り返りをして実施記録を付けている。ペビエヨガや離乳食講座、虫よけスプレー等の事業の参加者にはアンケートをお願ひして感想や意見を聴き、子育て中の参加者からは、人と触れ合うことがないので、とてもよかったですなどの意見が寄せられている。年度末には事業の評価反省行い、次年度の取り組みに反映させるようにしている。

事業者が特に力を入れている取り組み①	
評価項目	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者の就労と子育てを支援するために2時間延長保育や年末保育などを実施している
内容①	保護者の就労を支援するために、20時30分までの延長保育を実施している。また、急な残業などで保育時間間に合わない場合には、スポット延長保育を定員の空きプラス5名を受け入れている。年末保育を12月29日と30日に1部屋の定員30名で実施している。年末保育は園児で募集し、地域情報誌にも載せている。緊急一時保育も行っている。0歳児の園児は延長保育の対象外であるが母親が入院したケースでは受け入れるなど柔軟に対応している。昼間に与薬が必要な場合は病院処方の方の薬であれば依頼書を提出してもらい与薬している。

事業者が特に力を入れている取り組み②	
評価項目	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル②	年1回、法人全体で宿泊での研修を行なうなどして、法人内の横の交流を促進している
内容②	杉並区内に複数の園を保有しているため、法人全体で研修計画を策定し、職員育成の方向性を明確化している。また、毎年、法人全体で宿泊研修を行なっている。その際は、外部講師を招聘し、保育の専門スキル向上を図っている。また、職員同士の横のコミュニケーションを促進し、職員の定着化を図ると共に組織の活性化につなげようとしている。

事業者が特に力を入れている取り組み③	
評価項目	職員のやる気向上に取り組んでいる
タイトル③	お誕生日休暇の導入など、安心して働き続けられる職場環境を整えている
内容③	職員の心身の健康を促進するため、イベントエンガの予防接種の無料化や、お誕生日休暇の導入を行っている。今年度より、誕生日月の前後3か月の間に休暇を取るようになっている。年間の有給休暇の取得率は70%で、パート職員はほぼ100%である。残業削減にも努めており、残業は始まらない状況である。また、退職金制度も導入し、職員の退職後の安定した生活の保障に努めている。

No.	特に良いと思う点	
	タイトル	子どもが食に関わり食を楽しむ様子を保護者に情報提供し、家庭の食育への関心につなげている
1	内容	食育活動予定表を作成し、食材に触れる、調理を経験、食事のマナーや栄養について知るなどを盛り込んでいる。内容は、春の野菜(春キャベツ、うどなど)を紹介し、キャベツちぎりやとうもろこしの皮むき、梅ジュース作り、芋餅作り、ドーナツ作りなどである。毎月の給食だよりで子どもたちの食育の取り組みを紹介して、保護者会で食育活動予定表を配布して、説明し、食育活動後には写真を掲示して保護者に知らせている。保育室の廊下には、4・5歳児の今月のハイキング給食を写真付きで紹介している。
	タイトル	月案・週案や活動の様子の写真を掲示し、具体的な保育情報を保護者に提供している
2	内容	保育理念に「信頼し合える関係を築き、子育てのよきパートナーとなることを目指す」としており、毎月の指導計画や幼児組の週案と本日の活動内容を掲示している。廊下の数か所に食育活動や誕生会の様子の写真を掲示している。毎月の園だよりは行事予定、保育のねらい、誕生児紹介、各クラスの様子などを掲載し、A4判で6～8ページで構成されている。クラスだよりはA3判サイズで、手書きの比較的大きな字で温かみのあるものを作成し、職員や子どもたちの紹介や保育室内の様子、子どもが好きな遊びなどを具体的に保護者に知らせている。
	タイトル	法人の社会的責任として、積極的に地域の支援(地域交流)に取り組んでいる
3	内容	保育課程に「法人事業として果たす基本的社会的責任」として「地域の支援」を挙げて、様々な取り組みをしている。地域子育て支援として、10名定員のひととき保育、地域子育て情報誌「ちゅーりっぷ通信」の発行、年3回公園で行う出前保育、ペディーツサージやヨガ、沐浴・オムツ交換等の出産前後の親向け講座などを実施している。地域交流では、年間6回実施の併設の高齢者向け施設との交流、空園児向けのお好み焼きパーティーなど、一般向けの救急救命講習や虫よけスプレー作りなど、多様な地域交流を展開している。
	タイトル	さらなる改善が望まれる点 子どもの主体的な遊びを保障する為の時間や空間や物についての工夫・検討を期待する
1	タイトル	子どもの保育目標として6歳では「自分や友達存在を大切にして自信を持って行動する」を挙げており、そのため、子どもが自立的・自発的にじっくり遊びこむ時間と空間と物を保障することが必要であると考え、朝の自由遊びの時間は8時30分から9時20分であり、その後課題活動に入っており、子どもが自らやりたい遊びでじっくり遊ぶ時間は少ないのではないかとと思われる。子どもたちの主体的な遊びの保障について、環境の設定や生活時間などから振り返り、より良い保育の向上を目指して工夫・検討されることを期待する。
	内容	異年齢保育のねらいや進め方を話し合い、職員間で共通認識をもち進めることを期待する
2	タイトル	異年齢交流は日常の朝夕・延長保育、行事等で行っているが、当園は3階施設であり、1階に0歳児、2階に1～3歳児、3階は4・5歳児の保育室と遊戯室の構造であり生活フロアが違いため、自然な交流は生まれにくい状況である。異年齢の関わりを通して、思いやりや親しみの気持ちを育てたいとの考えから、昨年から少しずつ「なかよしタイム」と名付けた6つの縦割りグループ活動を始めている。今後は、異年齢保育のねらいや進め方等を話し合い、計画を作成するなどして職員間の共通認識を図り、取り組みをすすめることを期待する。
	内容	新人職員の育成プログラムの工夫とその充実が望まれる
3	タイトル	職員の育成には業務評価シートで年2回の面接を実施している。新人職員には法人の新人職員研修に参加させるほか、園では同じクラスの中で世話を決めて、園に慣れるように仕事を少しずつ教えたり、悩みなどを聴くなどして育成している。毎年、新人職員が入職してくる状況があり、今後は、新人職員にとって学ばなければならぬことをわかりやすく、指導者にも新人の育成の進捗状況がわかりやすくするためのプログラムなどの導入を期待する。
	内容	

荻窪北保育園

調査対象

利用している子ども97名の保護者85世帯。調査票の記入者：調査票の記入者：「父」14名、「母」15名、無記入7名。調査票記入者の年齢：「20歳未満」1名、「25～30歳未満」2名、「30～40歳未満」35名、「40～50歳未満」17名、無記入7名。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数

利用者総数 85
 共通評価項目による調査対象者数 85
 共通評価項目による調査の有効回答者数 62
 利用者総数に対する回答者割合(%) 72.9

利用者総数	85
共通評価項目による調査対象者数	85
共通評価項目による調査の有効回答者数	62
利用者総数に対する回答者割合(%)	72.9

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は、「大変満足」37名(59.7%)、「満足」18名(29.0%)、「どちらともいえない」4名(6.5%)、無記入3名(4.8%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の88.7%であり、サーベスに対して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%の方々が満足と答え、満足度が高い設問は、問1「食事の工夫」、問2「戸外遊びの工夫」、問3「保育時間の柔軟な対応」、問6「家庭と保育所の信頼関係」、問7「職員の関心姿勢」、問8「清潔保持・整理整頓」、問9「職員の接遇・マナー」、問10「緊急時の対応」、問12「子どもの気持ちへの配慮」、問13「フライングの保護」、問14「保育内容の説明」であった。
 ・自由記述では、「子どもの小さな変化にも気づいてくれる」「職員が温かく一緒に子どもの成長を喜んでくれる」などの声が多く寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	58	3	1	0
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	55	6	1	0
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	1	1	4

「はい」と返答した方々は回答者の93.5%で、提供されている食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「いつも美味しいと言っている」「手作りのおやつで栄養のあるものを食べさせてもらっている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「野菜が苦手な子が食べやすいようにして欲しい」「魚も増やして欲しい」との意見が寄せられた。

「はい」と返答した方々は回答者の88.7%で、自然や社会との関わりに関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「さまざまな体験ができています」「園庭がないことを感じさせないほど工夫が多い」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「園庭がない分、充分とは言えないが、工夫は充分してくれている」との意見が寄せられた。

「はい」と返答した方々は回答者の90.3%で、保育時間の柔軟な対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「できる限りの対応してくれて助かる」「スポーツ対応がとても助かっている」等の声が寄せられた。非該当と返答した方々からは、「まだ子どもが小さく、延長を利用したことがない」との声が寄せられた。

4. 安全対策が十分取られていると思うか	45	15	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の72.6%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の24.2%であった。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「玄関の鍵が終日閉まっているわけではないので、不審者対策としては不十分」等の声が寄せられた。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	43	19	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の69.4%で、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の30.6%であった。「はい」と返答した方々からは、「土日しか休みがないので、土日に行事をしてくれてありがたい」「0歳クラスだが、参加できる行事があつて嬉しい」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「保護者面談が平日はきつい」等の声が寄せられた。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	53	9	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の85.5%で、家庭と保育所の信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「職員はとても信頼でき、良きアドバイザーでもある」「職員や園長先生に話を聞いてもらうことがあり、話やすい」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「持ちあがりの先生は関係性が築けていると思いますが、一年で交代だと難しい」との声が寄せられた。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	54	7	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の87.1%で、保護者の考えを聞く姿勢に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「それぞれの家庭の事情を把握してそれぞれ対処してくれている」「親身に丁寧な保育をしてくれている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「語をする時間がなかなか作れない」等との声が寄せられた。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	56	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の90.3%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「古いなり精一杯綺麗にしている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「子どもに任せているところはそれほど整理されていませんが、子どもたちに任せることも大切だと思うので、それで良いと思う」との声が寄せられた。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	56	5	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の90.3%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「気になるところはありません」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「一部言葉遣いがラフな職員がいる」との声が寄せられた。				
10. 病氣やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	56	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の90.3%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「少しの怪我でも教えてくれる」「親よりも経験を積んでいるので安心できる」等の声が寄せられた。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	46	12	0	4
<p>「はい」と返答した方々は回答者の74.2%で、子ども同士のトラブルへの対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「子どもの気持ちを聞きだすことが親よりも上手である」「少しの傷が残る以外は、気持ちのケアは良くしていた」「どの声も聞き取れている」との声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員による」「子ども同士の暴力に対して、もう少し厳しく接してもらいたい」等との声が寄せられた。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	57	4	0	1
<p>「はい」と返答した方々は回答者の91.9%で、清掃と整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「多少個人差はあると思うが、みな良く対応していただいていると感じる」「親にも子どもの気持ちに分らない時がありますが、先生の方が良く分かっているようです」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「職員の方によります」「基本的にそこまで手厚くないように感じます」との声が寄せられた。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	53	2	0	7
<p>「はい」と返答した方々は回答者の85.5%で、プライバシーの保護に関して高い満足を得ている。「非該当」と返答した方々からは、「子どものプライバシーについては気になることがありません」「保護者と子どもの顔写真と名前が分かるように掲示してあるので覚えて下さい」との声が寄せられた。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	52	10	0	0
<p>「はい」と返答した方々は回答者の83.9%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「職員によって異なるが、わかりやすく説明してくれる職員が主に説明してくれるので概ね満足している」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「どのように過ごしたのか、一言聴くのみなのでイメージづらい」「タブレットの連絡を見落とすことがあり、予定が良く分からないことがある」等との声が寄せられた。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	6	0	9
<p>「はい」と返答した方々は回答者の75.8%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方々からは、「園長先生も話を聴いてより添ってくださっている」等の声が寄せられた。「どちらともいえない」と返答した方々からは、「一応聴いてくれるが、改善されているのかさけないのか…」との声が寄せられた。</p>				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	25	11	3	23
<p>「はい」と返答した方々は回答者の40.3%、「非該当」と返答した方々は回答者の37.1%であった。「非該当」と返答した方々からは、「そのようなことはない」「このアンケートで知った」「職員で事が足りた」等との声が寄せられた。</p>				

Ⅰ 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	サブカテゴリ1(1-1)
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ1毎の 標準項目実施状況
		9 / 9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	評点(0000)
	評価	標準項目
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている 4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(00)
	評価	標準項目
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている 2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(000)
	評価	標準項目
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えてい
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> 非該当

職員には、年度末の「方針会議」にて、次年度の方針について説明している

平成18年4月に、社会福祉法人和光会が指定管理者として運営を始めた。その際は、子ども・保護者の混乱を避けるため保育はできる限り区立直営園の方法・手順を引き継いでいる。「園のおりに児童憲章・保育園運営の基本方針・保育目標を明示し、保護者・職員・関係者に周知している。また、ホームページに園の保育目標・園の特徴を掲載し、保護者・地域の方々に周知している。職員に対しては、年度末の「方針会議」で次年度の方針について説明し、共通認識を持って保育に取り組めるように方向性を確認し合っている。

新人研修では、理事長が法人方針を伝えている

法人内他園と合同で「施設長会議」(月1回)を開催し、園長が参加している。「施設長会議」には理事長も参加し、法人方針を確認し合い、共通課題について検討している。当法人は、制度が整っていない中、0歳児保育、障害児保育を先駆的に始め、それを運動化していったという歴史がある。新人研修では、理事長が法人の歴史や法人方針を伝えている。また、「学びの物語」の学習会を継続的に実施している。この学習会を通して、職員個々が子どもの内面を深く捉え、保育計画に活かすよう取り組んでいる。

園の重要案件は、「職員会議」(月1回)で討議し、決定している

重要案件は、「運営会議」(週1回)・「職員会議」(月1回)で検討、決定している。そのほか、月1回のクラス打ち合わせで月案について話し合い、週1回のクラス打ち合わせで週案について話し合っている。さらに、幼児グループ会議(月1回)、幼児事例会議(月1回)、乳児グループ会議(月1回)、乳児事例会議(年3回)、幼児クラス代表者打ち合わせ(月1回)、乳児クラス代表者打ち合わせ(月1回)、食事会議(年2回)などで保育士の質向上に向けて話し合っている。

2 経営における社会的責任		カテゴリ-2	
		サブカテゴリ-1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		標準項目 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	評点(〇〇) <input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		標準項目 1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる 2. 透明性を高めるために、地域の人目にはふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に關する情報を開示している	評点(〇〇) <input type="radio"/> 非該当
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ-2(2-2) サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		標準項目 1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) 2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	評点(〇〇) <input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		標準項目 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) 3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	評点(〇〇〇) <input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		標準項目 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参回している 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	評点(〇〇) <input type="radio"/> 非該当

福祉サービズ従事者として倫理等の遵守について、新人研修で、理事より伝えている
福祉サービズの従事者としての倫理等の遵守については、新人研修のカリキュラムに組み込み、理事より教育指導している。また、園長と職員個々の個人面談の機会も設け、園長が子どもへの対応などについて助言・アドバイスをしている。保護者への対応では話をよく聴くよう努め、信頼関係を丁寧に積み上げてきている。その結果、利用者調査では「職員の接遇マナー」「緊急時の対応」「子どもの気持ちの尊重」に関して、回答者の90%以上が「はい」どの回答で、利用者・保護者対応に関して高い満足を得ている。

子育て支援事業では、「ふれあい保育」を実施し、育児相談にも応じている

地域情報誌や児童館での掲示を通して、運動会などの行事や一時保育の様子を掲載し、地域の方々への参加を働きかけている。運動会には地域の親子が数組み参加している。「ふれあい保育」を実施し、毎月、1～2組み来園しており、主任が育児相談に、離乳食については栄養士が相談に応じている。「だしの取り方」などのレシピを渡している。児童館に保育士が出向き、トイレット・トレーニングなどについて話をしている。近くの認証保育所が人形劇を月に染たり、保育室の子どもたちが「ボールを利用しに来ている。

マニユアルを用意し、活動初日のオリエンテーションで説明している

マニユアルを用意し、ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している。ボランティアの受け入れは、主任が担当し、マニユアルに沿って対応している。活動初日のオリエンテーションで説明している。個人情報保護について、口頭で伝えており、誓約書は交わしていない。中学生・高校生のボランティアが来園し、子どもと遊んだりしている。高校生のボランティアは、ボランティアで活動する中、保育専門学校に進学しており、保育人材の育成に貢献している。

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカネゴリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している サブカネゴリー1毎の
標準項目実施状況 8 / 8

評価項目1
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
○あり	○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる

評価項目2
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの動きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
○あり	○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
○あり	○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる

評価項目3
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)

評価		標準項目
○あり	○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
○あり	○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
○あり	○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している

カネゴリー3の講評

「園のしおり」などに苦情解決体系図に示し、入園前説明会で伝えている

苦情解決体系図は玄関の見やすい場所に掲示し、保護者に周知している。また、苦情解決体系図は、「園のしおり」・ホームページに掲載し、入園前説明会で保護者に説明している。法人として第三者委員2名(心理相談員・弁護士)を配置しているが、当園では第三者委員が介入するほどの苦情はこれまで発生していない。3月の保護者会で意見交換の場を設け、保護者の苦情を把握している。保護者からの苦情や意見は直接園長に口頭で伝えたり、連絡帳などを通してクラス担任に伝えることが多く、誠意を持って迅速に対応するよう努めている。

クラス懇談会などで際、事前アンケートを実施し、議題を決めている

保護者との個別面談やクラス懇談会の際、事前アンケートを実施し、保護者の意向を受けて、議題を決めている。年度末の保護者会や日常的にも保護者の意向を聴き取る姿勢を持つよう、職員へ教育指導している。急な残業などから通常の保育時間を超えてしまうときなどでも、延長保育の定員に空きがある場合に、スボット利用できるように配慮している。スボット利用は当日の午後からの申し込みに限っていたが事情によっては事前にも受けることもある。時間ぎりぎりのスボット申し込みも補食と夕食はできるだけ提供できるようにしている。

地域子育てネットワーク会議に参加し、地域ニーズについて情報交換している。

見学者や子育て支援事業利用者などから、地域の福祉ニーズを収集している。また、区保育課主催の研修や園長会などから、区の保育施策や子どもに関わるニーズを収集している。区内の認可保育園・認証保育園・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。地域子育てネットワーク会議に参加し、小・中学校、町会、商店街、PTA、人権擁護団体、保健所などと連携し、地域ニーズについて情報交換している。

カテゴリー4

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1(4-1)

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(0000)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	

評価項目2
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(00000)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービースの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(00000)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サテカテコリ-毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(00000)

評価		標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテコリ-4の講評

事業計画作成にあたって、全職員が参加し、重点課題について決めている

事業計画の作成では、「運営会議」で園長・主任2名で、話し合い、課題を決め、その後、職員会議で提案し、全職員で検討し、決定している。その際は、子どもへの負担、保護者の意向、職員の労働負担などを踏まえ、策定している。また、全職員が参画して策定している。計画策定後は、職員会議などで進捗状況を確認し、半期ごとに総括し、着実な実行に努めている。

「消防訓練計画書」を作成し、計画に沿って、月1回、防災訓練を実施している

天災などの災害時の対応は、「園のしおり」に“警戒宣言が出たら”の図を明示し、保護者・職員に周知している。また、不審者情報や災害情報などの緊急情報を電子メールによって、保護者の携帯電話やパソコンに配信できるシステムを導入している。また、消防署と連携し、救急法の講習を受けている。「消防訓練計画書」を作成し、計画に沿って、月1回、防災訓練を実施している。消防署と連携し、総合避難訓練を行ない、0歳児も含めて全園児で避難する訓練を行っている。

子どもの怪我などはミーティングで話し合い、反省点や気づきを共有している

通院を伴わない事故やヒヤハットの報告書は作成されていない。怪我などは、ミーティングで話し合い、反省点や気づきを共有し、ミーティングノートに記載している。園舎内の安全点検は、月1回、実施し、ミーティングなどで危険箇所を伝え合い、できることはすぐに修理し改善している。感染症発生時は文書を掲示し、保護者・職員へ周知し、注意喚起している。看護師は区の医療会(月1回)や研修に出て、職員会議で報告している。また、汚物処理やトイレ衛生管理は実務研修を実施している。

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成
に組み組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

8 / 8

評価項目1
事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(0000)

評価		標準項目
<input checked="" type="radio"/>	あり	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
<input checked="" type="radio"/>	あり	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
<input checked="" type="radio"/>	あり	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	○なし
<input type="radio"/>	あり	○なし

評価項目2
職員の質の向上に取り組んでいる

評点(000000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
<input type="radio"/>	あり	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
<input type="radio"/>	あり	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している
<input type="radio"/>	あり	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている
<input type="radio"/>	あり	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
<input type="radio"/>	あり	○なし
<input type="radio"/>	あり	○なし

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7 / 7

評価項目1
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組
んでいる

評点(0000)

評価		標準項目
<input type="radio"/>	あり	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
<input type="radio"/>	あり	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
<input type="radio"/>	あり	○なし
<input type="radio"/>	あり	○なし

評価項目2
職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価		標準項目
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 業務所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賞金・昇進・昇格・賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

職員採用では、筆記試験と個別面談を行い、採用の可否を決めている

職員採用では、筆記試験と理事長・園長による個別面談を行い、採用の可否を決めている。常勤職員の平均年齢34歳、常勤職員の平均在職年数6年で、職員の定着率は高い。年1回、職員アンケートを実施し、本人の希望を踏まえ、クラス担当を決定し、適材適所の人員配置に取り組んでいる。

“学びの物語”と“対話的保育”に取り組む、毎年継続実施している

職員アンケートから、職員の研修希望を把握し、個人別の研修計画を作成している。各クラス打ち合わせも含め各種会議を学びの場としても位置づけ、自由な意見交換を行い、互いに気づきを得られるようにしている。また、職員育成では、“学びの物語”と“対話的保育”に取り組む、記録に力を入れている。外部講師による「絵本の学習会」「実践会議」「わらべうた」「体育あそび」「荒馬踊り」などの機会を設け、保育のスキル向上を図っている。環境・遊具・子育て支援・保育計画・記録などのテーマを持って他園見学も行い、視野の拡大につなげている。

職員同士も互いに肯定的に理解し合い、より良い保育につながると考えている

職員の就業状況を把握し、職員の心身の管理に努めている。月1回以上、有給休暇を取得できるよう、シフト調整している。また、夏休み5日間は必ず取得できるようにし、生活のメリハリをつけるようにしている。毎年、7千円の昇給を行い、職員の生活を保障している。住宅手当のほか、パート職員も含めて、衣服手当を支給している。学びを通して、職員同士も互いに肯定的に理解し合い、職員のやる気向上につなげている。

7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1(7-1)

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(0000)

評価		標準項目
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(00000)

評価		標準項目
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー7の講評

文書管理規程を作成し、それに即って管理している

文書管理規程を作成し、文書の保存および管理に関する必要な事項を定め、それに即って管理している。紙ベースの個人情報は鍵の掛かる書棚で保管している。パソコン8台を設置し、パソコン上で共有フォルダを設け、どの職員も閲覧できるようにしている。また、パソコン8台は、すべてインターネットに接続しているため、定期的にセキュリティ対策を行い、情報の漏れがないようにしている。また、パソコンごとにパスワード設定し、團長・事務職員は、個別のパスワードを設定し、アクセス権限を設けている。

入園時、保護者に対して、口頭で個人情報について説明している

入園時、保護者に対して、口頭で個人情報について説明している。しかし、書面にて個人情報の取り扱いに関して同意を交わしていない。就学の際、小学校へ届ける「保育所児童保育要録」について、保護者に対して、口頭で説明している。ボランティアに対しては、オリエンテーションの時に個人情報について口頭で説明している。

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

積極的に地域活動に取り組んでいる

- ・今年度から、緊急一時保育に取り組んでおり、平成27年11月の訪問調査時点で、すでに4組の利用実績があった。
- ・積極的に地域活動に取り組んでいる。これまで、商店街・原董館と当園の共催で遊律ハーモニーまつりを実施している。当園は、土曜日に地域の和菓子店に来てもらい、柏餅づくりを実施し、在園児の親子や地域の方々とのよい交流になっている。その他、児童館主催で小学校で縁日を行った際には、赤ちゃんらあいこナーを担当し、協力している。また、昨年度、著名なオーケストラ団体の演奏会や人形劇の開催を行った際は、地域の方々に参加を呼びかけ、沢山の方々に参加した。また、近くの公園の田んぼで、年長組が、田植え・葉山子づくり・稲刈りを行っている。年2回、人形劇を行ない。地域の方々がかぎっている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

6年間、学びの物語に取り組んでおり、保育という仕事の醍醐味を味わっている

- ・6年間、子どもが自ら興味関心から出発した“子どもの学び”の姿を記録し、グループに分かれ、自分の記録を他職員へ報告し、皆で記録を確認し合い、子どもの理解を深め、子どもが興味や関心をもったことや子どものつぶやきから遊びを展開していく、対話的保育に取り組んでいる。その結果、職員個々が子どもを肯定的に捉え、言葉かけも肯定的になってきている。また、職員個々の保育のスキル向上や保育という仕事の醍醐味を味わっている。
- ・職員のニーズにあわせた学習会を実施している。運動機能、歌唱指導、わらべうたなどの学習会は、保育に反映され子どもたちの活動を活発にしている。外部講師を招いて行う年長児クラスの実践報告に基づいた実践会議は、プロジェクト活動と対話的保育をさらに深めていくための大切な学習の場となっている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

・園庭がない園であるが、散歩の充実を図っている

- ・園庭がない園であるが、散歩の充実に取り組み、積極的に戸外活動に取り組んでいる。利用者調査でも、「戸外遊び」に関して、回答者の88.7%が満足と返答し、戸外遊びに関して高い満足を得ている。
- ・5歳児のお泊り会の充実が図られている。職員と子どもたちと話し合い、その年ごとに活動内容を決めている。グループ毎に遠くの公園に弁当を持って行き、川の探検、買い物をして調理をする、銭湯に行き、夕飯は給食を食べる、夜に園内を探検するなどを実施している。

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

仕事を効率的に進め、残業時間の削減に努めている

・空いた時間を使って、運動会の準備や夏季のプール遊びの際のプールの設置や片付けなどを計画的に行なった。また、子どもの記録も含めた事務作業なども勤務時間内に済ませられるように職員へ伝えている。このような取り組みを通して、仕事を効率的に進め、残業時間の削減に努めている。

サマカテゴリー5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者のニーズに対応し、延長スポットを利用しやすように取り組んでいる

・スポット利用は当日の午後からの申し込みに限っていたが、事情によっては事前に受け、時間ぎりぎりのスポット申し込みも補食と夕食はできるだけ提供できるようにし、保護者のニーズに対応すると共に子どもの利益を優先に考え、対応している。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.		共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
1	サービスの情報の提供	サブカテゴリー1毎の標準項目実施状況	4/4
<p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: center;">評点(○○○○)</p>			
		標準項目	
評価		1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○ 非該当
		2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○ 非該当
		3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○ 非該当
		4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○ 非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>ホームページに概要や保育内容を分かりやすく掲載し、情報誌でも情報提供している</p> <p>区のホームページでは保育園の概要、施設の見取り図、保育目標、対象年齢や定員、主な行事などを紹介し、区が発行している「保育施設ガイド」(保育施設マツリ)などの情報誌にも掲載している。また、法人のホームページでも子どもの生き生きしている表情の写真を使って、保育園の概要や保育などをわかりやすく掲載し、お知らせ・園だよりには当月の園だよりや地域情報誌も送ることができるようにしている。月1回発行の地域子育て情報誌「すずらん」は現在のパートナー登録者50名程度に郵送し、一時保育室にも置いていく。</p> <p>公設民営施設であり、区役所や地域の関係機関と連携し交流している</p> <p>区の指定管理者として当園を運営しているため、区に毎月の在籍児童数や子育て支援実施記録等の報告書を出している。また、年度末には事業報告書や決算書などを提出している。その他、園の子育て支援の情報を地域の児童館を中心にした子育てネットワーク会議(保育園、小学校、中学校、高校、町会、PTA、商店街、保健所、人権擁護団体など)で報告し、情報交換している。児童館や区施設との連携で子育て講座を実施したり地域まつりを共催したり、地域の小学校とも校庭の借用や行事への参加などさまざまな連携している。</p> <p>見学希望者には子どもの様子を見てもらえる時間をすすめるが、柔軟に対応もしている</p> <p>電話で見学希望を受けた際は、子どもたちの様子を見るのに一掃適している15時半頃を設定しているが、都合が合わなければ、他の時間でも対応している。主任が主に対応するが、不在の場合は園長が対応している。施設見学に来た方には簡単なしおりを渡し施設案内した後、保育目標や保育の特徴などを説明している。年長組の成長が保育の成果であるという考えを持っており、お泊り会、散歩、夏のプールの様子など年長組の保育を中心に詳しく説明するようにしている。</p>			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー2	サブカテゴリー1毎の標準項目実施状況
			6/6
<p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: center;">評点(○○○)</p>			
		標準項目	
評価		1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○ 非該当
		2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
		3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○ 非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

標準項目		評価
1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	〇 非該当
2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	〇 非該当
3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	〇 非該当

サブカテゴリー2の講評

園医による健康診断や入園までの生活状況等の個別状況について聞き取りを行っている

2月中旬に入園内定者には「新入園児健診と面接のお知らせ」を送付し、提出書類などを同封している。健診は2月未平日の午後、親子で来園してもらい、園医による健診と身体測定、栄養士とのアレルギー食や離乳食の面接、園長と保育時間等の面接をしている。提出してもらう書類は、児童票、家庭連絡票、入園までの生活状況、生活リズム・食事アンケート、新入園児健康調査票であり、持ち物のしおりを渡して説明している。3月に入り、入園までの生活状況や、新入園児健康調査票を基に、保育士と看護師とで詳しい聞き取りを行っている。

入園初日の引き取り時間を利用して、園のしおりを基に説明会を実施している

入園説明会は保護者の負担を考慮して、入園初日のお迎えの時間を利用して10時45分～11時30分で行っている。保育園のしおりを基に保育方針や毎日の登園降園、病気や怪接についてなどを説明している。説明会の際には「ご意見ありますか？」と確認して、必要書類を提出してもらっている。説明会が終わった後に、それぞれクラスに子どもの引き取りに行ってもらい、0歳児の場合は離乳食の試食をしてもらっている。

慣れ保育は子どもの状況に応じて、短時間保育から徐々に時間を延ばして保育している

慣れ保育については新入園児健診と面接の折に、家庭の事情などを聴いて、最初は短い時間で対応して、徐々に慣れさせていくようにすることや保護者に説明している。3日間程度を予定しており、初日は食事をして11時30分頃、2日目からは母子分離で13時頃、3日目は15時頃、4日目からは平常保育になる。新しい環境に慣れずに、食事が食べられない、ミルクが飲めないなどの子どもの状況によって、期間を延長することもある。しかし、母親の就業事情等により初日から平常保育の場合やゆっくり進めたい希望がある場合等は随機応変に対応している。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 12 / 12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

標準項目		評価
1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	〇 非該当
2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	〇 非該当
3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	〇 非該当

評価項目2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価		標準項目	
○あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/>	非該当
○あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	非該当
○あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/>	非該当
○あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうえで、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/>	非該当
○あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/>	非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価		標準項目	
○あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/>	非該当
○あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/>	非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

評価		標準項目	
○あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/>	非該当
○あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/>	非該当

サブカテゴリ3の講評

保育士や看護師は子どもの状態を日誌や連絡ノートに記録し、児童票にも記載している

毎朝の受け入れ時に保育士は、子どもを観察したり連絡ノートや保護者から聴き取ったりして健康状態を把握している。朝当番が受けた場合は朝タノードに記録して引き継ぎ、担任はその情報に配慮して保育を行い、保育日誌や連絡ノートに記入している。看護師はクラスを回り全園児の健康状態を視診し保健日誌に記録している。児童票に身体測定や健康診断結果などの健康記録と保育経過記録、子どもの姿と保育上参考となる事項等を記載している。保護者からの希望や意見は、保護者会や個人面談を通して収集して保護者会記録に付けている。

保育指導計画は担任同士が話し合って作成し、各グループ会議で報告し共有している

月間指導計画(月案)は各クラスで担任同士が話し合って作成している。子どもの姿などを振り返り、次月の目標と子どもの活動内容、環境および配慮点を話し合っている。クラス打ち合わせは週1回行い、乳児グループ、幼児グループの打ち合わせは月1回夜2時間程度、幼児は事例会議を月1回行っている。クラスで作成した月案を乳児・幼児グループの打ち合わせで報告し意見交換をしている。打ち合わせや会議では子どもが落ち着いて遊べるように、遊び方、おもちゃの使い方、環境整備、クラスで抱えている問題の事例を出すなど話し合っている。

様々な会議を実施して、子どもや保育に関する情報を職員間で共有している

ミーティングは毎日昼間に15分程度、全クラス代表者が参加し、翌日の職員体制や確認事項などを共有している。職員会議は月1回、理事会の決定事項や行事、給食、アレルギーマの情報などについて話し合っているが、そのうち3回はグループ別に学びの物語を報告し合っている。総括会議は年2回、前期の振り返りとその後の計画について1年間大切にしたいことを基に総括している。方針会議は理念、園の実践課題、事業計画、全体像などを話し合い、会議録を見ることができるようになっている。

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点(〇〇)

標準項目		評価
		〇あり ○なし
	1. 子どもに関する情報(事項)を外外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	〇あり ○なし
	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	〇あり ○なし

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(〇〇〇〇〇)

標準項目		評価
		〇あり ○なし
	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	〇あり ○なし
	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	〇あり ○なし
	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	〇あり ○なし
	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	〇あり ○なし
	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	〇あり ○なし

サカカネコリー5の講評

保育課程にも子どもの権利を守ることを掲げて、取り組んでいる

保育課程にも、「人権の尊重」の項目を作り、子どもの権利を守ることを掲げている。子どもの名前は呼び捨てにしないが、鬼ごっこ中は呼び捨てになりやすいので、年に何回か、大人はもちろん子ども同士も呼び捨てにしないという注意喚起をしている。子どもの要求やしたいことをしっかりと聞いて保証したいと考えている。こんな材料を使って何かを作りたいという要望、音に敏感で午睡ができない子のつらさを感じて対応するなど、子どもの思い、「いやいや」を思いつきり出させて自我を確立させるために、人手を厚くして丁寧に対応している。

保護者の考えや生活習慣には良く話を聴き、できるだけ寄り添い受け入れられている

放射能対策の考え方で子どもに牛乳を飲ませたくないと申し出がある場合には、お水や白湯を飲ませている。予防接種を受けさせないという保護者の考えを受け入れている。宗教上の理由から豚肉除去を希望される場合は、代替え肉の鶏肉などで提供している。おむつを外す時期も保護者の考え方を良く聞き、連携して取り組んでいる。保育時間は決まっていますが、習い事などで早めのお迎えを希望される場合や朝が起きられず登園が遅くなる場合は連絡してもらい、受け入れている。

虐待防止に向けた職員の勉強会を開催したり、研修に参加したりして学んでいる

虐待を未然に防ぎ早期発見ができるように、発見した時の対応の仕方を学ぶ機会として、区の子ども家庭支援センターから来てもらい、できるだけ多くの職員が参加してカンファレンスを実施している。区で主催する児童虐待対応基礎研修には職員が受講している。内容は、虐待の原因が築造にどう影響をするのか、どんな保護者が気になるのか、発見後の具体的な対応、支援のポイントなどである。参加した職員は、どんな場合でも普段の子どもや保護者の様子を把握して、日頃から信頼関係を築くことが大切だと改めて思ったと報告している。

6 事業所業務の標準化

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○○)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
	○非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○○)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改善の時期や見直しの基準が定められている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
	○非該当

評価項目3
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

標準項目	
評価	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
	○非該当

区立園共通マニユアルの他、必要なマニユアルを整備している

区立園共通のマニユアルも使っている。「延長保育の危機管理マニユアル」、「事故発生時対応手順」「アレルギー対応法、対応マニユアル」「食物アレルギー臨床的重症度と対処法」「各症状による対応(けが・病気など)・・・誤飲、嘔、顔面、頭など」「近隣病院一覧」与業者リストとその対応について「アレルギー児一覧」などを整備している。「汚物の処理の仕方」、「延長保育」「スポット延長の対応」などもあり、各マニユアルは、必要な時にいつでも見ることが出来る場所に置いておき、活用している。

必要に応じて随時見直したり、行事終了後や期末、年度末に反省をして見直している

延長保育のマニユアルは延長の子どもの人数や構成によって、時期に関係なく見直しが必要になるため、その都度話し合いや見直しをしている。見直す際は園長と主任とでたまたま台を作り、職員会議で討議して決定している。行事や保育内容の手順については行事終了後や期末や年度末には反省をし、必要に応じて見直しをしている。個人面談や保護者会などで寄せられた保護者からの意見は記録に取り、参考にしたり、見直しにつなげたりしている。

園内学習を取り入れて、保育の質を高める取り組みをしている

年3回「学びの物語」の小学習会をクラス会議やグループ会議で継続的に行って、子どもの内面を深く読み取り、保育に生かす取り組みをしている。職員が知識や技術を学び、保育の質を高めるための取り組みとして、園内研修を実施している。子どもの言葉を記録する年3回、乳児保育年3回、わらべうた年4回、実践学習、荒馬おどり、運動遊びなど、講師を招いて学んでいる。また、法人の3園研究会も年齢別保育、給食、延長保育等各年齢や分野で交流し学び合っている。その他、区の研修や外部研修「心がつながる子育て支援」などにも参加している。

Ⅲ サービスの実施項目 (カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

37 / 37

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価		標準項目	
<input type="radio"/>	あり	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつキ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目1の講評

室内環境は年齢に応じて遊べるように、また、自分で選んで遊べるように設定している

0歳児は一人ひとりのリズムに応じて眠れるように、ベットの一人一台置いてある。全身運動ができるような遊具や高低のある遊具を用意している。1歳児も全身の運動ができるように室内滑り台等で遊んでおり、家庭的な雰囲気や遊びなどを配慮している。2歳児は自然物を取り入れて栽培やザリガニの飼育をし、自分で遊具を選べるように低い棚で仕切り、遊びのコーナーを設置している。幼児は遊びの続きができるようにし、ままごと、こっこ遊び、積み木遊びのコーナーを作っている。各年齢に応じた絵本コーナーも設置している。

異年齢も異文化も当たり前のこととして受け入れられている

異年齢交流は朝夕保育で行っているが、雨の日に戸外に行けない時には意図的に幼児組と乳児組を歩き来して遊んでいる。散歩にも異年齢で一緒に行っている。「遊び会」は3～5歳児が自分たちで考えた曜日で、お化け屋敷や普段から作ったものでお店やなどをして、ホーメルが自然の形で交流の場となっている。卒園を祝う会は、4歳児が5歳児のために会場を装飾を作り、昼食のメニューを考えている。異文化交流も外国人の子どもも保護者も当たり前として受け入れ、豚肉除去の子どもには、「～ちゃんは食べれないね」と子どもたちも分かっている。

子ども同士のトラブルには保育者は子どもの気持ちを聴いて、橋渡しをしている

子ども同士の喧嘩やトラブルはお互いを知る大事な機会と肯定的に捉えている。保育者は子どものお互いの思いをきちんと聴いて、橋渡しや伝わるように交通整理をしている。かみつキやひっかけ等の子ども行動については自分の思いを言葉に出して言えない発達上の特徴について、保護者会で話をしている。「かみつキやひっかけ」行動が止められなかった園の責任であると保護者には伝えていく。トラブルになった状況を保護者に丁寧に知らせ、今後の対応についても話をするようにしている。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価		標準項目	
<input type="radio"/>	あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状態に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/>	あり	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

朝の受け入れ時は保護者とお互いに声を掛けあい、子どもの様子を確認している
朝はこちらから必ず声をかけて挨拶している。子どもへの対応をしていて、すぐに声がかけれないこともあるので、保護者にも「声かけてください」と伝えている。子どもの家庭での様子について「変わりはありませんか」等と聴くが、保護者から先に言われることもある。朝保育の当番が受け入れをした時には、保護者からの連絡事項などを朝タイムに記載して、8時30分に子どもと共にクラス担任に引き継いでいる。

生活習慣を身に付けることの大切さを伝え、子どもの状況を保護者と共有して進めている

健康で楽しい園生活を送るためには早寝早起きをして、朝食はしっかりと食べましょうなどと、園のしおりや園だより、保健だより、給食だよりで伝えており、保護者会でも話している。トイレット・トイレニングでは2歳児の時には資料を配布して園の進め方を説明しているが、まずは家庭の考え方を良く聴き、子どもの状況を保護者と共有して一緒に進めるようにしている。手洗いや着替えなどは子どもが「やってみよう」と思うような環境作りや声掛けをしながら一つひとつ身に付けてくように援助している。

午睡は個々の子どもの状況に応じて、時間や長さを配慮している

午睡や休息は子どもの発達に応じて対応している。午睡時間になっても、睡眠に向かえない子どもは事務所で預かり静かに過ごさせたり、早く起きた子どもは別の部屋で遊ばせている。夜なかなか寝ないで困っているという保護者から午睡を早く起こして欲しいという要望がある場合には応えている。寝れている様子が見られたり、眠気が強そうな場合には、早めに寝かせたり、遅めに起こすなどの配慮をしている。就学前の5歳児の午睡は、3月に入ると1時間程度にし、徐々に早めに起し、最後の週はできるだけ起きていらるようになっている。

3 評価項目3

3 評価項目3
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの自主性、自覚性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○ 非該当

評価項目3の講評

子どもが興味や関心をもったことやつぶやきから始まった活動をしている

5歳児は公園で箭を見つけたのをきっかけに「箭ご飯を作りたい」と子どもから提案があり、箭ご飯作りをしている。家で作ったことがある子どもが作り方や材料を調べてきて、グループ毎に近所の店に買い物に行き、だしを取り味見をして調理している。また、「遠い公園に行きたい」という声があると、自分たちで公園を調べてきて、実際に散歩で行ってみている。「遊び会」では、自分たちでしたいことを話し合い、やりたい子ども同士が集まってお化け屋敷や、オシヤリ屋などに取り組んでいる。

集団活動では民舞「荒馬」に取り組んだり、バス遠足や鬼ごっこ等をしている

集団活動に入れるタイムングも人それぞれであり、子どもが自分で考えている時間も大切にしている。3歳児から民舞の荒馬に取り組んでいる。普段は一月に1回程度であるが、運動会に向けて週1回踊りの練習と、リズムを打っている。民舞をすることで気持ちの開放、表現力、一体感、リズム感、伝統文化を伝えることをねらいとしている。園庭がない園であり、バス散歩を実施して公園でアスレチックや鬼ごっこをして体を動かして遊んでいる。「ねこねず」は3歳くらいから好きな鬼ごっこであり、年長組になると自分たちでルールを変えて遊んでいる。

屋上や公園の田んぼで植物や箱を栽培し、散歩先で自然の変化を感じる機会を作っている

園庭はないが、屋上庭園の砂場の藤棚に花が咲き、プランターには野菜や花を植えている。子どもたちは散歩に良く出かけて、風や日差し、植物などから季節の変化を感じ、探索をしたり昆虫採集やお花摘み、落ち葉拾いや雪遊びなどをして遊んでいる。区立公園の田んぼで箱を栽培して田植えや栗山子作りをし、収穫を経験している。保育室内にも、トングリや木の枝などの自然物を使った製作物を飾っている。公園などの散歩先で捕まえてきた昆虫や金魚、ザリガニ、カブトムシなどを飼育している。

4 評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

子どもがやりたいことを出しあい、やり遂げられる「遊び会」等の行事を行っている

12月に実施している「遊び会」では2～3週間かけて、やりたいものを出しあい、やりたい子ども同士が集まって、お化け屋敷、電車ごっこ、折り紙屋、たこ焼き屋、おしゃれ屋、図書館、ゲーム屋、的あて屋、ジュース屋、輪投げ屋などを行っている。3歳児はお客さんになってもらい、8割は午後のおやつの後に来てくれている。運動会は地域の小学校の校庭で、雨の場合は体育館を借りて行っている。子どもたちだけの種目は取り組んでいる荒馬ドリルであり、他は親子でできる種目になっている。

行事予定表を4月に配布して知らせ、保護者の協力が必要な時にはお願いしている

年間行事予定表は4月に保護者に配布している。保護者参加行事は運動会である。日程が近くなれば園だよりも知らせている。地域の小学校で行っているが10人くらいの父親にテント張りなどを手伝ってもらっている。5歳児のお別れ遠足は、保護者の希望で親子遠足にし、8割の保護者が参加している。卒園式は5歳児の保護者と4歳児・職員全員が参加し、「皆で送り出す」ことを大切にしている。保育参観はいつでも受け付けている。8月に4・5歳児が区営のプールに泳ぎに行く時には、保護者に呼び掛けて協力してもらっている。

園の行事に地域の人に参加してもらい、地域の祭りの主催者側になり地域交流をしている

園で観劇会を実施し、地域の保育室の子どもたち30名程も来園し一緒に観ている。運動会には地域の子育て中の人にも参加してもらっている。地域の児童館などの区施設と商店街、当園も加わり開催しているまつりには、ソーセンべい屋、バザーなどで職員が参加し、土曜日のため子どもは保護者と参加している。孫と遊ぶ会では園児の祖父母35名の参加があり、幼児組が歌を披露したり一緒に遊んでもらったりしている。相餅作りは地域の人にも参加を呼び掛けている。高年生のポラソニアや地域のお話しの会のポラソニアも受け入れている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

いつも同じ保育士やパート職員で、延長保育用の遊具やマット、座卓などを用意している
 延長保育時間は18時30分～21時30分である。19時半までは、乳児と幼児を分けて保育している。0～2歳児の年齢に応じたパズルやホッ
 どできるぬいぐるみ、発達に応じた遊具などを延長保育用遊具として用意している。乳児はいつも同じ保育士になるようにシフトを組み、ワ
 リーの保育士2名と主任1名とで担当している。パートもいつも同じ人に入ってもらっている。幼児が18時30分まで過ごす3歳児室は、広い
 部屋であり遊び毎のコーナーで自由に遊んでいる。マットを敷いて座卓を置き子どもたちが落ち着ける雰囲気になっている。

保育者が仲介をしながら異年齢の子ども同士が関わって遊べるように、配慮をしている

夕保育や延長保育時には乳児と幼児が別の部屋で過ごしており、乳児同士・幼児同士の異年齢交流がある。乳児ではブロック類や人形
 ぬいぐるみ、パズルなどの場所で遊んでいるが、保育者は子ども同士が関わられるように見守り、2歳児は0歳や1歳がそばに来るとやさしく
 手を貸す様子が見られる。幼児では、お店屋さんごっこを始めると、「くださいな」とお客さんになる子どももいて、年齢に関係なく
 一緒に遊んでいる。折り紙で遊んでいる時などにはでき上がった5歳児が4歳児につくってやろうかと声を掛けられている。

乳児は連絡ノート、幼児は「今日のように」を掲示して子どもの様子を知らせている

保護者に日中の子どもの様子を知らせ情報共有するために、乳児は連絡ノートを使用してその日の活動の意味や保育者の思いも伝え
 ている。幼児は「今日のように」に今日の活動とそのねらい、保育者の思いを入れ込んで書き、写真も使って掲示している。お迎えの際に
 見てもらえるように移動した部屋に「今日のように」を移して、日中の様子を伝えていく。直接伝言が必要な事項は、担任が朝夕ノートや延
 長ノートに記入し、口頭でも当番に引き継ぎ、当番はそのノートを基に確実に保護者に伝えている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価項目	標準項目	評価
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○ 非該当

評価項目6の講評

落ち着いて楽しく食事ができるようにし、おひつ配膳やお楽しみ献立も取り入れている

子どもが落ち着いて食べられるように、部屋の中の食事コーナーが決まっており、テーブルの座席も、大人の座る場所も決まっている。椅
 子の高さはその子の足が着く高さのものを使っている。年長組のご飯はテーブルごとおひつに入れて出しており、自分でご飯をよそってい
 る。月1回お楽しみメニューの日を実施し、部屋の仕切りをとり4歳と5歳が一緒にご飯を食べている。献立はお楽しみとして、伝統食や旬の
 食材を使った献立表にない物を提供し、テーブルにはお花を飾っている。

屋上で野菜を栽培し収穫や食べる経験をし、調理活動にも2歳児から取り組んでいる

屋上の庭園にかぶ、じゃがいも、きゅうり、おくら、トウモロコシなどを栽培し、子どもたちも水やりをしながら、花が咲き、実がなるのを楽し
 みに収穫して、給食に出して食べている。子どもも調理活動は2歳児から取り組んでいる。梅干し、梅ジュース作りには、子どもたちが撿枝
 でヘタを取って手伝っている。調理活動は、月1回程度行っておいなりさん、ピザトースト、型抜きクッキー、スライムトボナト、うどんなどを作
 っている。公園で菊を見ながら、菊ごはんが作りたいとの声が上がリ、作り方を調べ、実際に作る活動もしている。

園の食育の取り組みを給食展示や給食だより、園だよりで保護者に伝えている

玄関ホールに毎日の給食・離乳食を展示している。側に今日の献立、補食献立、夕食献立を表示している。毎月、献立表、給食だより、離
 乳食だよりを発行している。配布する献立表は、0歳児、1歳児、2歳児、3～5歳児、補食、夕食と6種類用意している。給食だよりには食育
 に関する情報(清涼飲料と子どもの水分補給についてなど)と給食のメニューや簡単なメニューのレシピを掲載している。また、子どもたちが
 調理活動で作った料理のレシピ(ピザトースト、菊ごはんなど)も保護者会などで紹介している。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている

評点(0000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づき支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

折に触れて感染症の予防や危険から身を守ることに伝えて伝えている

子ども自身が怪我や病気を防止するために、子どもに手の洗いや指を指さしたり、虫歯予防のための歯の染めだしをして腐き方を知らせている。インフルエンザや風邪の予防として、うがいや手洗いの仕方、鼻の噛み方、咳エチケットの指導もして、習慣づけられるようにその意味も知らせている。散歩に出かけることが多いので、道路では交通ルールを知らせ、公園では危険箇所を確認し、遊び方のルールなどをその都度知らせている。

医療的なケアが必要な子どもの場合は専門機関と連携して支援をしている

薬は基本的には預からないが、慢性疾患の場合で保育園での与薬が必要であると判断されるケースは預かっている。主治医の与薬申込書を提出してもらっているが、与薬は6か月で見直している。受診してもらっている。熱性けいれんの場合は発熱で何度になったら投薬するかなどを看護師の指示で、個々に対応している。アトピー性皮膚炎の塗り薬も預かっている。

SIDSや感染症に関する情報を保護者に提供して、予防に努めている

乳幼児突然死症候群(SIDS)について、注意喚起のポスターが貼られた時には提示している。園におけるSIDSの対策は入園の時、寝かせるときにはうつぶせ寝ではなく上向きで寝かせる、0歳児は5分おきに、1-2歳児は10分おきに体位や顔色などを観察し、午睡チェック表に記録していることを伝えている。園で感染症が発生した時に必ず何クラスに何名、感染症が発生したと掲示して注意を呼び掛けている。区からの情報を玄関の掲示板に貼り出したり、保護日よりや園日より注意喚起をしている。玄関には大人用にアルコール消毒も設置している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の就労や事情も把握して、保護者との「共育で」にやり組んでいる
園の運営の基本方針には「働くことと子育ての両立」を求めて働く保護者が安心して預けられる保育園に」と掲げており、法人の考え方は保護者との「共育で」共育を「重大事」にしているの、職員は保護者に保育の実情を伝えるようにしている。乳児組は「連絡ノート」、幼児組は「今日のおうす」を使って、できるだけ分かりやすく伝えるために写真を付けるなどの工夫をしている。急な残業などでお迎えが遅くなった場合などには、延長スポーツを利用しやすくし、夕食の当日の申し込みも受けている。

保護者会で保護者同士の懇談の時間を多くもつようにしている

年2回実施しているクワスの保護者会では、子どもの様子をビデオで見てもらったり年齢の特徴などを伝えたりしているが、保護者同士で話し合う懇談の時間も多もつようにしている。グループ別に話したりしやすいテーマにするなどしている。例えば、2・3歳児クワスで実施した内容は、「子どものいやいやにどう付き合うか」「夫の協力を得るためには」などであるが、母親同士の共感を得られ、母親にとって救い場にもなっている。0歳児の保護者会後に離乳食を食べさせてもらうことで、保護者同士がより一層打ち解けることができている。

年2回のクワス保護者会と1回の園主催の保護者会を開催して意見や要望を貰っている

年2回の保護者会はクワス別で平日の13時30分～15時で実施している。園主催の保護者会は3月の土曜日11時から1時間程度で実施し、昨年は10人程度の参加があったが、内容はこの1年大切にしてきたこととこれからの保育、保護者の意見・要望であり、各クワスの担任も報告している。年長組の発表を聞いた0歳の保護者から「成長が楽しみだ」という意見が出ています。運動会への意見で、ねこねずの親子対決をしたいと思いますと保護者からの要望があり、種目に取り入れられています。学習会「子育てを考える会」を開催しているが参加は多くはない。

9 評価項目9

地域の一斉に即した子育て支援を実施している

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭の一斉に即した子育て支援事業を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○非該当

評価項目9の講評

児童館との共催の「大きなあれ」や子育て講座などの地域支援事業を実施している

当園は一時保育室を開設して一日10名の定員で専任の職員が保育にあたっている。緊急一時保育は今年4組受け入れられている。1日親子で保育園の生活を体験する「ふれあい保育」も受けている。地域の子育て支援活動として、児童館との共催で「おおきなあれ」を月1回開催し、身長体重測定や遊びの提供をされており、毎回30～40組の参加がある。児童館に出向いて子育て講座を年数回実施しているが、離乳食講座は栄養士が担当して年2回、保育士が担当するわらべ歌や手遊びなどが年2～3回、排せのおむつ外しについては主任が担当して1回行っている。

子育て広場を年3回開催し、園のホールで自由に遊んでもらっている

子育て広場を年3回園のホールで開催し、遊びの提供や遊具の紹介をして、絵本の貸し出しも利用できるようにしている。毎回5～6組の参加があるが、親子で自由に遊んでもらっている。その他、毎月発行している地域子育て情報誌「すずらん」では一時保育の様子を知らせているが、観劇会や運動会などの保育園の行事へのお誘いも掲載して、参加してもらっている。

地域子育て支援事業の評価は前期・後期の総括会議で行っている

園の運営基本方針に「地域の人たちとの連携の中で、豊かな子育てができ『子どもたちに豊かなものを』という立場で「より良い保育」を目指していきける保育園」を掲げており、取り組みでいる地域子育て支援事業の評価や反省は、前期・後期の総括会議で行っている。前期の評価振り返りを受けて後期の取り組みに生かし、年度末に総括している。また、理念や実践課題を話し合う方針会議においても、取り組みの評価や見直しを行っている。

事業者が特に力を入れている取り組み①	
評価項目	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている
タイトル①	子どもが自分で選び遊びたくなるような手作りや木製の玩具をコーナー毎に設置している 保育室内は、子どもの発達に合わせた手作り玩具、木製玩具などを子どもの目の高さの低い棚に、手に取り遊びたくなるように分かりやすく並べて用意している。0歳児は音の出るおもちゃやぼつとんなど、1歳児はひも通しやカラー積み木など、2歳児では木製レールやままごと、人形などである。各保育室は自分で玩具・遊具を選んで遊ぶように低い棚で仕切り、遊び毎のコーナーを設置している。電車のリール遊び、絵本、積み木、ままごと、ブロックなどのコーナーである。絵本コーナーには各年齢に応じた絵本を選定して用意している。
内容①	

事業者が特に力を入れている取り組み②	
評価項目	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル②	「学びの物語」の小学習会を通して、子どもと共に成長していく保育者を目指している 園長は「より良い保育のために、子どもと話しながら進めたい」と欲しむと職員へ伝えている。そのため、年3回「学びの物語」の小学習会をクラス会議やグループ会議で継続的に行って、子どもの内面を深く読み取り、保育に生かす取り組みをしている。子どもができる、できないではなく、子どもが発した言葉を拾い、子どもが興味や関心を持ったことを記録し、子どもの力を発揮しているところを保育者が見つけている。このような記録の見面しに取り組み、職員個々が保育の面白さや味わいを感じ取り、子どもと共に成長していく保育者を目指している。
内容②	

事業者が特に力を入れている取り組み③	
評価項目	職員のやる気向上に取り組んでいる
タイトル③	職員の処遇改善に積極的に行っている
内容③	保育運動の先駆的取り組みを行ってきた法人であるため、保育士の処遇改善にもさまざまな取り組みができています。当園では、毎年、産休・育休を取る職員が3名～4名程いて、仲間の保育士も温かく受け入れられる職場環境があり、出産しても働き続けられる職場環境である。有給休暇も気兼ねなく、取得できる環境であり、年間平均取得率60%以上である。これまでに7千円の昇給を行い、パート職員も含めて衣服手当も支給している。

No.	特に良いと思う点
タイトル	子どもたちが興味をもったことから活動を展開し、子ども主体の保育に取り組んでいる
1 内容	保育目標「丈夫な身体、確かな考え、豊かな心を持った子ども」に沿って、子どもが興味や関心をもったことや子どものつぶやきから遊びを展開している。対話的保育を行っている。5歳児のお泊り会では職員と子どもたちで話し合い、2日間にすることを食事も含めて決めている。グループ毎に遠くの公園に弁当を持って行く、買い物をして調理をする、銭湯に行き夕飯は給食を食べる、夜に園内を探検するなどを実施している。応援職員がグループ活動を援助し、子どもは喧嘩もするが仲裁にも入る姿が見られ、自分たちが決めたことという意識で活動している。
タイトル	児童館と連携して「おおきくなあれ」「子育て講座」など地域子育て支援事業をしている
2 内容	「一時保育」実施園であり、児童館との共催事業「おおきくなあれ」を月1回ホールで開催して、毎回30～40組の参加があり、身長・体重測定や遊びの提供もしている。児童館との連携で行っている「子育て講座」では、離乳食講座やわらべ歌・手遊び、トイレット・ポイントニングについてなどを行っている。ホールを開放している「子育て広場」は年3回開催し、遊びの提供や遊具の紹介、絵本の貸し出しをして親子で自由に遊んでもらっている。親劇会やコンサートを開催する時には地域に複数ある保育室などに声を掛けて一緒に観たり聴いたりもしている。
タイトル	子どもたちにできるだけ良い物を与えられるように園内研修に専門講師を招き学んでいる
3 内容	保育目標を実現するためには、子どもたちにできるだけ良い物を与えられるように努力しようという考えのもと、職員が知識や技術を学び、保育の質を高めるための取り組みとして、学識経験者や専門家を講師に招いて園内研修を実施している。テーマは「子どもの言葉を記録する」「乳児保育を深める」「実践学習」「幼児小連携が目指すもの」「わらべうた」「荒馬おどり、太鼓」「運動遊び」などである。それぞれ1回から4回実施して、学んだことを実際の保育に生かそうとしている。
No.	さらなる改善が望まれる点
タイトル	一定の保育の水準を保つために「保育関係のマニュアル」の作成検討を期待したい
1 内容	区立園共通の「危機管理マニュアル」も使っている。「延長保育の危機管理マニュアル」、「事故発生時対応手順」「アレルギー対応処法、対応マニュアル」、「食物アレルギー—臨床的重症度と対処法」各症状による対応(けが・病気等)誤飲、菌・顔面、頭等)」、「近隣病院一覧」、「与薬者リストとその対応について」、「アレルギー—児一覧」等の事故や災害、怪我、誤食等の対応や「延長保育」、「スボット延長の対応」を整備している。今後は、職員同士で一定の保育水準を保つための散歩や記録等保育関係のマニュアルを作成検討されることを期待したい。
タイトル	入園時に保護者と書面で個人情報の取り扱いについて同意を交わしておくことが望まれる
2 内容	入園時、保護者に対して、口頭で個人情報について説明している。個人情報の同意書は取っていない。園内には子どもの顔写真を使った掲示物もあり、また、保護者から提供された個人情報が多い。そのため、個人情報保護法の重要性を深く認識して、情報の保護を図り、情報漏洩を防ぐためにも、また、個人の権利利益を保護するためにも、個人情報に関する同意書を作成し、入園時に保護者と書面で同意を交わしておくことが望まれる。
タイトル	リスク管理に向けたより一層の取り組みが望まれる
3 内容	怪我などはミーティングで話し合い、ミーティングノートに記載している。ヒヤリハット用紙は活用されていない。職員個々が気づいたときに、ミーティングなどで伝え、修繕できるところをはずぐに直して改善している。不審者対策も直近2年間行なわれていない。リスク管理に向けたより一層の取り組みが望まれる。

巻末 付属資料

付属資料 1：利用者調査 調査票

付属資料 2：経営層合議用シート（事業プロセス・組織マネジメント・サービス分析）

付属資料 3：職員用シート（事業プロセス・組織マネジメント・サービス分析）